

『成菩提院文書』の総合的研究

福 田 榮次郎

A Comprehensive Study of the “Jobodain Temple Documents”

FUKUDA Eijiro

This is an interim report about the study of the “Jobodain Temple Documents.” The Jobodain Temple is a short name for the Jakushosan Enjoji Jobodain Temple that was allegedly founded by Saicho, Denkyo Taishi (Great Teacher Who Transmits the Teachings), and is situated at present-day Kashiwabara, Santo town of Sakata county in Shiga prefecture. This temple was one of the temples called “Dangisho” (Place for Discussion) of the Tendai sect of Buddhism where pursuit of learning was valued, and it flourished in the medieval period. The temple stored many treasures such as a drawing of a Buddhist image of the Kamakura era, which was designated as an important cultural property. As for written materials such as ancient documents, it held more than two thousand documents from the medieval and pre-modern periods to the modern period, although they have not been thoroughly analyzed.

The reprinted version of the medieval documents restored at the Jobodain Temple, which were transcribed in 1888 (twenty-first year of the Meiji era), are displayed at the Institute for Compilation of Historiographical Materials. The documents are consisted of twenty-one records. Subsequently, about fifty medieval documents appeared in “A History of Sakata County,” “A Revised History of Omi Sakata County”, and “A History of Santo Town.” The “Jobodain Temple Documents” came to be used in various ways in describing local histories of the region.

The “Jobodain Temple Documents” are consisted ① handed-down documents, which appeared in the reprinted version and in the local histories, ② handed-down documents which have not been examined, ③ handed-down classical books and Buddhist scriptures and the like, ④ medieval documents which are newly discovered, ⑤ documents separately restored at the Library of Hiroshima University and the Mitsui Archives. I was engaged in the research in all of these documents, and studied about them comprehensively.

Consequently, (1) made bibliographical lists of each group of documents, and compiled them chronologically in the divided three parts of the medieval documents, the pre-modern and modern documents, and classical books and Buddhist scriptures. (2) I made the transcribed manuscripts of all the medieval documents. (3) I made the transcribed manuscripts judicially selected from the documents of the pre-modern and modern periods and from the classical books and Buddhist scriptures. In this paper, I have submitted the reports of a chronological list of the medieval documents and a chronological list of the pre-modern and modern documents in the book form. The other results from the research under discussion will be published on some future occasion.

《重点個人研究》

『成菩提院文書』の総合的研究

福 田 榮次郎

一 はじめに

本稿は『成菩提院文書』の総合的研究の中間報告である。ここでとりあげる成菩提院は、現在は滋賀県坂田郡山東町柏原に所在する天台宗の寺院である。寂照山円乗寺成菩提院といい、伝教大師最澄の開基と伝えられ、嵯峨天皇の勅願寺であったといわれている⁽¹⁾。鎌倉時代以来の寺宝として、国重要文化財「絹本著色浄土曼荼羅図」・「絹本著色聖徳太子像」・「絹本著色不動明王二童子像」・「金堂雲形孔雀文磐」, 県重要文化財「絹本著色普賢菩薩像」・「大般若経」等々が伝来されており、鎌倉時代には栄えていたようである。その後嘉暦元年(1326)には越前の平泉寺との争いなどがあり、一時衰退することがあったようであるが、応永年間に至り、比叡山西塔止宿貞舜法師により再興されたという⁽²⁾。このとき談義所を開き、成菩提院を興すと共に談義所として隆昌させ、柏原談義所と呼ばれ、東海道三箇談林の随一として知られるようになった⁽³⁾。

このような歴史をもつ寺院であるから、文字史料としての古文書や典籍・聖教類も多数蔵しているであろうことは想像されるのであるが、今日までその調査・研究は必ずしも十分に行われていなかったように思われる。大原観音寺をはじめとする坂田郡の寺社文書の調査・採訪を進めるなかで、成菩提院は出来れば史料採訪を行ってみたいと考える有力候補の寺院であった。

なお、当寺歴代のうち、貞舜を一世とよんでおり、二世住持慶舜、三世住持春海として、この三人を「柏原三代」とよんでいるが、この三人の時代に談義所としての成菩提院は大きく発展していったようである⁽⁴⁾。また、近世初頭の天台僧であり、東叡山寛永寺を創始し、日光山、東叡山、比叡山の三山を兼ね天台宗を統管した天海僧正は、本寺の二十世住持をつとめている⁽⁵⁾。

以下、本稿では、はじめに成菩提院について述べ、次に成菩提院文書の中世文書を考え、続いて中世文書の研究についてふれることにする。そして第四には成菩提院の近世文書(書冊文書)について論述し、おわりにこの編年目録の編纂をめぐる一言をしたいと思っている。

註

(1) 成菩提院については、『山東町史』本編 第7章 中世諸宗の展開 参照

(2) 『本朝高僧伝』巻17

『成菩提院文書』の総合的研究

(函側面貼紙)「貞舜慶舜自筆本 七帖見聞 原本等」

(タテ35.4) (ヨコ25.0) (高サ17.4)

さて、このような成菩提院文書の特徴的なことを二、三指摘すると、先ず第一には典籍・聖教類が非常に多いということである。天台宗では談義所と呼ばれる天台の教学をきわめる寺院があるが、成菩提院は天台宗を代表する談義所の一つとして知られている。そこに典籍・聖教類が豊富にあるということは当然のことと思われる。さきにあげた上蓋函書にある「貞舜慶舜自筆本 七帖見聞等」とあるのは、「天台名目類聚鈔」のことで、当院住持一世の貞舜が応永年間に論述したものであり、初心の学徒に愛読された天台教学の貴重な典籍のことである⁽⁶⁾。なお、印信類については予想以上に蔵されているようである。次に指摘できることは、成菩提院文書はかなり流出しているということである。現在その流出として知られているものには、三井文庫に23点、広島大学文学部に13点がある。これ以外にも流出し、所在がわからなくなっているものもかなりあるのではないと思われる。こうした流出とは趣を異にするが、近世初頭に天海僧正のもとに、成菩提院架蔵の典籍・聖教がかなりおくられているようである。

さらに成菩提院文書には中世の社会経済史研究に興味のある帳簿類が多くあるということも指摘できるのではないかと考えている。『近江国坂田郡志』にも帳簿類が何点か載録されているが、それはこうした帳簿を興味ある史料と理解してのことと思われる。この度我々も「緊急に学会にその存在を報告することを目的として」成菩提院文書の帳簿6点を翻刻した⁽⁷⁾。なお、成菩提院文書は今回の採訪・調査によって、かなりの中世文書が新出したということも成菩提院文書を考えるとき大事なことではないかと考えている。今回は特に近世文書群のなかから109点の中世文書が現れたのである。紙磋商でくくられたものが三束出てきた。一応現状をそのままにして、A, B, Cの三つに分けて整理し文書目録を採ることにした。大半が寄進状と土地売券であった。史料採訪においてこのような大量の新出文書にあえることは誠に幸運な事だと思っている。これはひとえに史料採訪の機会をつくっていただいたおかげである。また、『成菩提院文書』の調査・研究に際しては、成菩提院住持山口智順師ならびに御家族の皆様には何かと御高配をいただいた。ここにその旨を記して心から御礼を申し上げる。

註

- (1) 成菩提院文書 (3071. 61/63) (『史料編纂所図書目録』写本二)
- (2) 福田榮次郎「わが『史料採訪』の旅」(『中世史料採訪記—史料論の展開と史料調査の旅—』所収 ぺりかん社 1998)
- (3) 『近江坂田郡志』全三冊 (坂田郡役所編 1913)
『近江国坂田郡志』全八冊 (坂田郡役所編 1941~44)
中川泉三氏については、太田浩司「二人の地方史研究家」(『歴史科学』142号 1195) 参照
- (4) 山口智順「福田先生にお会いして」(『中世史料採訪記—史料論の展開と史料調査の旅—』所収 1998)
成菩提院史料採訪の事情についてのべられている。
- (5) この①⑧…⑳とある番号は、今回の整理に際して附したもので、特に意味はない。一つの函に本来の函書以

外のものが納められたり、函書と現在所収のものが全く異なる場合もある。文書の整理が終了した段階で、これらの函の処理が一つの問題点となると思われる。

(6) 『天台宗全書 解説』第22巻

(7) 湯浅治久「〈史料紹介〉成菩提院所蔵『年中日記』」(福田榮次郎編『中世・近世地方寺社史料の収集と史科学的研究』〔科研費研究成果報告書〕所収) 1999

三 成菩提院中世文書の研究

成菩提院文書が『近江国坂田郡志』に掲載されてから、既に半世紀近くの歳月が経過している。この文書による研究成果も出てきているが、談義所の研究や典籍・聖教類の研究が注目される。さきにあげた「柏原談義所の成立」を論じられた叡山学院教授尾上寛仲氏は成菩提院について、柏原談義所について、典籍・聖教について多様な研究をすすめられている⁽¹⁾。成菩提院を論じては「台密諸流の一つに西山派があり」「此の流派の灌室は正覚院(比叡山東塔)、正観院(同西塔)、宝菩提院(京都)、成菩提院(滋賀県)にあった」「成菩提院は柏原談義所として知られ、且つ西山流の灌室として続いた」と述べられている⁽²⁾。そして「又談義所は止観業を中心としたものであるので、談義所の大多数は台密の寺とならず、逆にいえば、台密中心の寺一例へば黒子の千妙寺の如き一は談義所とはならなかった。談義所の中で台密を兼ねたものは、柏原談義所(近江国、成菩提院、西山流)と密蔵院談義所(尾張国、葉上流)の二ヶ所である」と指摘している⁽³⁾。

次に成菩提院の典籍・聖教類についてであるが、さきに函書のところで「七帖見聞」についてみてきたが、成菩提院十世眞海の撰述したものに「眞海十帖」なるものがある。これについても尾上氏は「柏原成菩提院覚書」の「當院歴代著述」をとりあげて、

「七帖見聞又天台類聚、柏原安立又宗要安立」

「眞海十帖 眞祐十帖」

の四部の書について論じられている⁽⁴⁾。また、そこで成菩提院所蔵「常住物日記」をとりあげ、そこに、

「先代聖教ハ、経歳有目録、但代々之替日ニうせ申云々、南光房様へ大略参候、」

とあるのを引用し、寛永の初期に成菩提院から天海僧正にかなりの数の書物が進上されていたことを指摘されている。

成菩提院や談義所、成菩提院の文書や典籍・聖教等々について、尾上氏をはじめ諸氏の研究は多々あるが、いまみてきたもの以外で目についた論稿を掲げると、

尾上寛仲「中古天台における談義所」(『印度学仏教学研究』8巻1号 1960)

同 「信濃国の天台宗談義所」(『信濃』12-17 1960)

同 「叡山天海蔵義科類の構成」(『叡山仏教研究』所収 1974)

同 「柏原談義所の発展」(『印度学仏教学研究』23巻2号 1975)

同 「天台名目類聚鈔」(『天台宗全書』解説)

池上一切円『法華経直談鈔』解題(臨川書店刊 1979)

『成菩提院文書』の総合的研究

曾根原 理「貞舜と中世天台教学」(玉懸博之編『日本思想史—その普辺と特殊—』所収 ぺりかん社 1997)

このような教学関係の研究に対して、社会経済史的研究は、成菩提院文書による個別具体的研究はないようであり、その研究成果は必ずしも多くないようである。しかし『近江国坂田郡志』のなかには郷土の歴史叙述に成菩提院文書も多様な形で関わっている。例えば近江国には「江州佐々木南北諸士帳」や「江州古城主并古屋敷」といった国内の郷土の名を連ねた資料があるが、『近江国坂田郡志』はこれに古文書等で注記するという作業を行っているが、そこには成菩提院文書や成菩提院所蔵の過去帳を引用している。また、柏原村の大沢氏・殿村氏・宮河氏・山根氏といった諸士について成菩提院旧蔵文書をあげて論述している⁽⁵⁾。そしてこのように『近江国坂田郡志』にみられる「成菩提院旧蔵文書」の中には、現在、成菩提院では見ることの出来ないものもあるようである。例えば「成菩提院旧蔵大永元年辛巳十二月廿七日川瀬彦衛門田地売券」が「川瀬万五良」の注記にあげられているが、今回作成した成菩提院文書目録にはこの売券は見られない⁽⁶⁾。尚、最近の成果として、成菩提院文書の帳簿類と補任状を引用した湯浅治久「売券の地域性と普遍性に関するノート」があり、賣券を引用して賣寄進を論じた長谷川裕子「畿内周辺における賣寄進状の諸形態」がある⁽⁷⁾。

成菩提院のある柏原庄は、延暦14年(795) 荘園として成立したが、その後は白河院の中宮藤原賢子の領するところとなり、さらに賢子の女である郁芳門院媞子に伝領されている。応徳2年(1085) 郁芳門院は仏聖燈油料として柏原庄を醍醐寺円光院に施入したが、文安6年(1449) 三宝院領管轄諸職諸領目録には「柏原庄」が見えており、15世紀半ばまで醍醐寺領であったことが知られる⁽⁸⁾。醍醐寺文書等を駆使しての柏原庄の論述はあるが、成菩提院文書による柏原庄の研究はあまりみられないようである。荘園領主としての醍醐寺文書と談義所に関わる成菩提院文書との文書群の相違によるものなのかもしれない。また、この荘園は「名」の編成や構造に興味ある課題が含まれているようであり、今後の研究が待たれるところである⁽⁹⁾。

今回、『成菩提院文書』の中世と近世書冊の部の調査・整理が終了し、ここにその編年目録を刊行することになったが、成菩提院文書の研究をすすめるための一助ともなれば幸いであると思っている。

註

- (1) (上蓋函書) ⑩の裏には「昭和四十九年九月一日 第五十九世尾上寛仲整理之」とある。
- (2) 尾上寛仲「台密西山流—成菩提院灌室の成立について」(『印度学仏教学研究』25巻2号 1977)
- (3) 尾上寛仲「談義所と天台教学の流伝」(『叡山学報』1 1961)
- (4) 尾上寛仲「真海十帖について」(『天台学報』19 1977)
- (5) 『近江国坂田郡志』第二巻 第九編十二章 434頁
- (6) 『近江国坂田郡志』第二巻 第九編十二章 421頁

ただし、現在広島大学所蔵の「成菩提院文書」に永正17年12月27日河瀬彦右衛門俊久田地賣券がある。この二つの河瀬の賣券をどう考えるかが問題となる。

- (7) いずれも『中世史料採記—史料論の展開と史料調査の旅—』所収 1998

- (8) 『山東町史』本編 201頁
 (9) 湯浅治久「成菩提院文書の帳簿類と研究課題」成菩提院文書研究会（研究発表）1999。なお、宮島敬一「戦国期地方寺社の機能と役割」（『佐賀大学教養部研究紀要』22 1990）、宮島敬一「中世後期の名と村落」（『駿台史学』62 1984）等参照

四 成菩提院の近世書冊文書

成菩提院所蔵近世文書のうち、書冊文書は天正19年12月「田古新帳」を上限として概数500点・700冊である。その時代的な中心は寛政期以降で約350点を占め、特に天保年間以降幕末に集中している。近世前期文書はごく少なく、仮に元禄年間を基点とみると、それ以前の文書は僅か41点に過ぎない。しかし、近世文書の中で、一村文書として、また村方文書としての数量的見地からみても、右の文書数、特に寺院の書冊文書がこれ程に伝わっていることは撓倅といえよう。

書冊文書の内容をごく大まかにまとめると、成菩提院の経営関係・朱印地関係・什物関係・本末寺関係等々となるが、以下朱印地関係文書の二、三について少し紹介しておきたい。

成菩提院は朱印地160石の寺院である。一口に朱印地160石といってしまうとそれまでであるが、周知のように近世に存在したすべての寺社が幕府から朱印地を与えられたのではなく、朱印地を持っていない寺社の方が多い。ちなみに、当院の朱印地をみる一参考として、「寛文朱印留」（史料館叢書2）により、全国天台宗寺院の朱印地をみるとおよそ以下のようなものである。

幕府から朱印地を与えられた天台宗寺院は計117寺である。その最高は、東叡山寛永寺6000石（武蔵国内15ヵ村）、次いで比叡山延暦寺5000石、最小は山城国頂法寺1石であるが、全117寺院の朱印高をごく大まかにまとめると、1000石以上=7寺院、1000石～500石=5寺院、500石～100石=29寺院、100石～50石=23寺院、50石以下=53寺院となり、50石以下の朱印地が特に多い。こうした中で、当院は全国天台宗寺院朱印地宛行117寺のうち23位の朱印地となる。この事実からして、当院の経済的基盤はこの朱印地にあることはいままでもなく、そしてまた、それに関わる文書も自ずと多くなり今に伝わっている。

当院の朱印地は、天正19年4月23日、豊臣秀吉から与えられた。その朱印状が現存するが、参考までに全文を次にあげた。

於江坂田郡
 柏原内合百五拾
 石事、宛行之訖、
 全可院納候也、
 天正十九
 四月廿三日（秀吉朱印）
 城菩提院

寺社領のうち、朱印地に関わる一連の行為は必ずしも明確でないが、筆者がかつて検討したことの

『成菩提院文書』の総合的研究

ある下総国香取郡香取神社（朱印地1000石）の場合で見ると、領主による朱印地の確定—朱印地検地—朱印地配当、の手順となる。現存する成菩提院文書を見ると、一応右の手順と思われるが、その第二番目となる朱印地への検地の実施を伝えるのが、既述した書冊文書の上限である、天正19年12月10日「田古新帳」に当たる。

天正19年12月「田古新帳」は別に「成菩提院地帳目録古新帳」とも記され、朱印地一筆を単位とし、①所在地、②旧地積と分米、③新地積と分米、④名請人、という記載になる。本帳の奥書によると、今度太閤検地が行われた結果、古帳と太閤検地帳と引合せのため、師檀が寄合いこの田地帳を定めた、との意が記され、澄芸法印・西川与三兵衛等五名が連署している。

本帳によると、朱印地150石の所在地は居村の柏原村の外に、岩谷村分・清滝分・大野木分・杉沢分・室木分・葛川分の四ヶ所に分布していることがわかる。本帳の検討により、朱印地を中心とした中世～近世への移行の過程を明確に追究できると思われる。

慶長7年徳川氏に依る近江国総検地に当たり、9月に成菩提院朱印地の検地が実施された。書冊文書で上限の4位に当たるのがこの時の、慶長7年9月21日「江州坂田郡柏原成菩提院領御検地帳」であり、江戸幕府成立5ヶ月前に施行された総検地である。そして8年後の慶長15年10月4日、將軍徳川秀忠朱印状によって、幕府最初の朱印状が交付された。その写しが現存するが、参考として次にその一部をあげた。

成菩提院領之事

近江国坂田郡柏原之内百五拾石、
全可寺納、并山林竹木境内門前
諸役令見許訖、（以下略）

秀吉以来の朱印高を、幕府もそのまま継承したことになるが、しかしこの後朱印高が150石から160石へと変化する。その時期やまた理由はわからないが、既述した寛文5年朱印状によると、「柏原郷之内百六拾石余事、（中略）任慶長十三年十月四日・同十八年四月六日・寛永十三年十一月九日先判之旨」とあり、前掲慶長十三年朱印状以来朱印高160石としている。現存する諸文書でも、その後の朱印高は一貫して160石としているが、こうした朱印高の変化は筆者は寡聞にしてこれが初めてである。

成菩提院朱印地に対する最後の検地は、延宝7年に行われた。延宝7年検地は、東北～畿内幕領に実施された総検地である。この総検地は幕府の命により、幕領周辺大名が行った代行検地で、当院の朱印地検地は彦根藩井伊氏が担当した。この時期に実施された総検地は、以前の古検を全面的に改める、幕政史上でも特記に価する検地であるが、当院の朱印地もまた同様な基準で施行された。幸いにこの重要な検地帳が延宝7年7月「江州坂田郡柏原村成菩提院御朱印地御検地帳」として伝存している。

その集計部分のみをあげると次のようである。

古検拾三町六反九畝廿八歩
反合拾六町五反八畝拾五歩

内

式町八反八畝拾七歩 竿先之出同

分米合百九拾石五斗六合

成菩提院所蔵文書のうち、書冊文書のごく大まかな紹介と、その中で当院の朱印地関係文書について記してきたが、質・量共にまとまっている当院文書の検討は、未だ解明の遅れている近世寺院の解明に大きな地位をしめているといえよう。

五 おわりに

『成菩提院文書』の総合的研究」の中間報告として、中世文書と調査・整理の完了した近世・近代の書冊文書の「編年目録」を作成した。以下このことについて一言する。

- (一) 文書目録は中世、近世、近代、典籍・聖教の四部にわけ、それぞれの部でそれぞれの方式に従って編纂することにした。それぞれの文書の性格やそれぞれの様式や形態の相違から、それぞれの方式で編纂することが有効であろうと考えたからである。
- (二) そのうち、今回は中世の部と近世・近代の書冊文書の部を編年に編纂して刊行することにした。
- (三) 編年を組むにあたっては、一応原則として慶長7年(1602)小堀新介の実施した総検地以後の文書を「近世文書」として取扱うことにした。また、明治元年(1868)以降の文書を「近代文書」として取扱うこととした。但し、新出文書Cには江戸時代の文書も含まれているが、今は、現在の状況を変えない方がよいと判断して、一応中世の部に入れておいた。また、「田古新帳」(天正19年)ならびに慶長2年水帳・慶長4年検地帳は、近世文書と一括して保存されており、これも現状を変えない方がよいと考えて、今回は近世の部に入れておいた。
- (四) 中世の部は編年目録の外に、その文書の所蔵、所収、新出等によって分類した目録を付することにした。
- (五) その所蔵、所収、新出等を明確に表示するために略号を使用した。その略号の凡例は次の如くである。なお、三井・広大以外のものは成菩提院に所蔵されていることになる。

郡志 『近江国坂田郡志』所収分

帳簿 成菩提院所蔵の帳簿類

三井 三井文庫所蔵分

広大 広島大学所蔵分

影写 東京大学史料編纂所影写本

新94 1994年新出のもの

新A, B, C 1995年新出のもの

(附記)『成菩提院文書』の総合的研究」の重点研究には、福田榮次郎ならびに相模原市立博物館館長神崎彰利氏をはじめとして、明治大学文学部日本史専攻卒業生高橋孝行・湯浅治久・中山文人・原和之・須永一弘・釈迦堂光浩・鎌倉佐保の諸君と東北大学図書館曾根原理氏が参加した。なお、本稿の四(成菩提院の近世書冊文書)は神崎氏の執筆にかかるものであり、目録作成には原・釈迦堂・鎌倉の三君によるところ大である。また、参加の諸氏には、ここに謝意を表します。

成菩提院文書編年目録

(中世文書・近世書冊文書・近代書冊文書)

(-) 中世文書

(1) 中世文書編年目録

連番	略号	西暦	年月日	史料名	備考
1	新 A39	1360	延文 5 年閏 4 月 17 日	阿忍真恒各年貢未進証文	
2	新 A05	1388	嘉慶 2 年 4 月 23 日	維那賢弥・監寺聖珠連署免除状	袖判あり。A23 と同。
3	新 A23		嘉慶 2 年 4 月 23 日	維那賢弥・監寺聖珠連署免除状	袖判あり。
4	郡志 01	1394	明德 5 年 2 月 10 日	殿村導一田地売券	秘斗 応永 7 年の裏書あり。
5	郡志 02	1400	応永 7 年 12 月 1 日	権律師実尊田地譲状	1 号文書に関連。
6	新 9502	1422	応永 29 年 9 月 13 日	権大僧郡豪華カ血脉	新出
7	広大 01	1431	永享 3 年 9 月 4 日	道仏田地売券	
8	三井 01	1434	永享 6 年 1 月 28 日	大吉寺真蔵坊実舜畠地寄進状	大吉寺真蔵坊 舜海 舜円
9	三井 02	1438	永享 10 年 12 月 13 日	柏原正賢下地売券	
10	三井 03		永享 10 年 12 月 13 日	柏原正賢坪付	
11	新 A42	1439	永享 11 年 1 月 26 日	清瀧寺忍宗田地寄進状	
12	三井 04	1449	宝徳 1 年 12 月 18 日	弥六兵衛長光田地寄進状	
13	広大 03	1452	享徳 1 年 9 月晦日	千兼カ譲状	
14	新 A30	1458	長禄 2 年 2 月 19 日	妙範あさ畠売券	
15	新 A32		長禄 2 年 2 月 19 日	妙範あさ畠売券	
16	新 C15	1459	長禄 3 年 5 月 18 日	妙永田地譲状	
17	新 B35	1460	長禄 4 年 12 月 2 日	田住左近名田売券	
18	新 C18	1461	寛正 2 年 12 月 日	宗教下地証状	
19	新 B01	1462	寛正 3 年 5 月 日	名超寺成乗坊朝舜田地売券	
20	新 B18		寛正 3 年 5 月 日	成乗坊朝舜名田売券	
21	新 A04		寛正 3 年 9 月 28 日	今河衛門田地寄進状	
22	三井 05	1464	寛正 5 年 6 月 29 日	宗教田地売券	
23	新 C09		寛正 5 年 6 月 29 日	大吉寺梅本坊慶舜田地寄進状	
24	新 A16	1465	寛正 6 年 12 月	真恒半名坪付	
25	新 C14	1468	応仁 2 年 6 月 18 日	春海田地寄進状	
26	新 A06	1469	応仁 3 年 2 月 23 日	上津俊定畠地売券	
27	新 A46		応仁 3 年 2 月 23 日	法印春海畠地寄進状	
28	三井 06	1475	文明 7 年 5 月 26 日	尊祐田地寄進状	
29	広大 02	1478	文明 10 年 11 月 3 日	太郎兵衛・藤三郎連署田地売券	
30	新 C22	1480	文明 12 年 12 月 13 日	藤衛門・朝舜連署田地売券	
31	広大 04	1482	文明 14 年 11 月 16 日	右太郎・右二郎田地売券	
32	新 A08	1483	文明 15 年 4 月 5 月	清瀧寺西蔵房兼海田地売券	
33	新 B30		文明 15 年 4 月 5 日	清瀧寺西蔵坊兼海田地売券案	

連番	略号	西暦	年月日	史料名	備考
34	新 A38	1484	文明16年 2月12日	清瀧寺維那代全盈・監寺全等連署為次名補任状	
35	新 A26		文明16年 2月13日	清瀧寺維那代全盈・全等連署為次名補任状	
36	新 B33	1485	文明17年 5月19日	殿村平六継淨田地売券	
37	新 A31		文明17年 6月26日	金藏坊源□下地売券	
38	三井07	1486	文明18年 2月18日	宮河俊信田地売券	
39	新 A17		文明18年 2月23日	尼如貞田地寄進状	
40	新 B31		文明18年 5月16日	中井俊長・長寿庵如養連署下地売券	
41	三井08		文明18年 8月26日	十乘房善村田地売券	
42	新 A13		文明18年12月26日	清瀧寺維那・同監寺連署柏原重次名補任状	
43	新 C16	1487	文明19年 3月 3日	殿村吉重田地寄進状	
44	新 A33		文明19年 6月 5日	柏原今河住人衛門田地寄進状	
45	新 B28	1487	長享 1年10月 3日	南衆永金島地売券案	
46	新 C21	1488	長享 2年 1月吉日	恒弘名田島坪付注文	
47	新 B19		長享 2年 2月 日	正観院鏡還名売券	恒広名
48	広大05		長享 2年 7月13日	弥高寺伊勢田地売券	
49	新 B24		長享 2年12月17日	今村円正・妙願・右近・左近連署島地売券	
50	新 A15	1493	明応 2年 6月 3日	己高山中坊栄禪田島売券	買主空白。
51	広大06		明応 2年 6月12日	中坊円日如法行田寄進状	
52	新 A44		明応 2年 6月12日	栄禪・円日連署如法経田寄進状	
53	三井09	1494	明応 3年 6月	明林讓状案	
54	新 C12		明応 3年11月10日	円日田地寄進状	
55	三井10	1496	明応 5年11月 1日	円日房田地売券	
56	三井11	1497	明応 6年12月 6日	正運庵理正田地売券	
57	新 A21		明応 6年12月26日	真恒半名坪付	
58	新 A37	1500	明応 9年 3月	如養田地売券	
59	広大07	1501	文亀 1年11月27日	神田彦衛門島地売券	
60	三井12	1502	文亀 2年 2月12日	山根新兵衛島地売券案	
61	新 A07		文亀 2年 6月26日	桑原俊明・同兵衛六郎下地寄進状案	道蓮
62	新 C11		文亀 2年 6月26日	桑原信明・同兵衛六郎連署下地寄進状案	
63	新 C25		文亀 2年 6月26日	桑原俊明・同兵衛六郎連署下地寄進状	
64	新 B07		文亀 2年 7月10日	能仁寺覚旧下地売券	
65	新 B17		文亀 2年12月13日	大野木庄司某田地売券	
66	新 A11	1504	永正 1年 7月16日	堤藤左衛門尉家次田地寄進状	
67	三井13	1506	永正 3年 3月26日	大沢宗信田地売券	
68	三井14		永正 3年10月20日	桑原慶珍田地寄進状案	
69	新 C10		永正 3年12月 3日	増藤家次田地売券	
70	三井15	1507	永正 4年11月16日	上田清秀田地売券	
71	新 B23	1510	永正 7年 5月10日	殿村家世田地売券案	
72	三井16	1512	永正 9年 1月 5日	正願田地寄進状	
73	新 B05		永正 9年 4月26日	常望房豪寛田地売券	
74	新 A03	1514	永正11月 8月10日	妙秀田地寄進状案	
75	新 A20		永正11年 8月10日	大野木郷妙楽寺田地寄進状案	
76	新 C19		永正11年12月 2日	殿村小太郎田地寄進状	

『成善提院文書』の総合的研究

連番	略号	西暦	年月日	史料名	備考	
77	三井17	1515	永正12年3月6日	殿村家世田地売券	A2と共に(包紙)「万供田証文二通」「村木村河瀬彦左衛門より買徳之証文 式通」に入る 裏書あり。	
78	新 A35		永正12年10月16日	河瀬孫四郎利久畠地寄進状		
79	新 B10		永正12年12月5日	殿村家世田地売券		
80	新 B09	1517	永正14年3月16日	殿村又三郎田地売券		
81	新 C08	1519	永正16年2月吉日	多賀直信田地寄進状		
82	新 C02		永正16年8月11日	西河家満田地寄進状		
83	新 B06	1520	永正17年4月2日	殿村家世・同小法師連署年貢売券		
84	新 B02		永正17年4月26日	河幡孫衛門・与次郎田地売券		
85	広大08		永正17年12月27日	河瀬彦右衛門俊久田地売券		
86	新 B29	1522	大永2年4月24日	殿村家世田地売券		
87	新 A10		大永2年11月2日	宗慶田地売券		
88	新 B20		大永2年12月3日	殿村房宗田地売券		
89	新 B11		大永2年12月24日	殿村家世田地売券		
90	三井18	1523	大永3年2月22日	殿村家世田地売券		
91	三井19		大永3年2月22日	殿村家世田地売券		
92	新 C17		大永3年2月22日	清瀧寺納所癸球補任状		
93	広大09	1523	大永3年6月2日	出河小三郎定次田畠売券		
94	新 A01		大永3年12月26日	西脇直勝・同勝正連署田地寄進状		
95	新 B32	1526	大永6年12月27日	室上太郎右衛門田地売券		
96	新 A09	1528	大永8年2月15日	高橋栄乗田地寄進状		
97	新 A40		大永8年2月15日	高橋左近将監清家栄乗鐘突田寄進状		
98	新 A43		大永8年2月15日	高橋左近将監清家栄乗鐘突田寄進状		
99	三井20		享禄1年3月1日	西方百姓中田地売券		
100	新 B26		大永8年6月26日	練禅坊心祐田地売券		
101	三井21		享禄1年12月20日	定聚坊心祐田地売券		
102	新 B08	1529	享禄2年10月吉日	河内清為田地売券		
103	新 B15	1531	享禄4年1月26日	玉蔵坊門日・同周□田地売券		
104	新 C05		享禄4年2月5日	永聚庵理永田地寄進状		
105	新 B34	1533	天文2年12月28日	満願寺全深田地売券		
106	新 B25	1534	天文3年12月3日	遠藤秀宗田地売券		
107	郡志03		天文3年12月16日	浅井亮政書状		大沢小次郎 日光寺 東大史料影写本①
108	新 A36		天文3年12月26日	名超寺新蔵坊光尊田畠売券		大蔵坊 東大史料影写本②
109	帳簿01		天文3年12月 日	年中雑々		
110	新 A14	1535	天文4年9月26日	弥高寺大蔵坊名田寄進状		
111	新 A12	1536	天文5年2月26日	居益郷永聚庵理栄田地寄進状		
112	新 B27		天文5年11月16日	実生寺重雄田地売券		
113	新 C01	1537	天文6年3月15日	遠藤秀宗田地売券		
114	新 B21		天文6年5月16日	実生寺重雄田地売券		
115	新 B16	1538	天文7年4月10日	清瀧寺雄居屋敷売券		
116	新 C26	1541	天文10年6月18日	長久寺有舜畠地寄進状		
117	郡志04	1543	天文12年6月8日	馬場吉久書状		
118	新 C24	1544	天文13年1月11日	桑原覚心田地寄進状案		東大史料写本③
119	郡志05		天文13年9月10日	堀元積書状		
120	帳簿02		天文13年力	年中日記		
121	新 B13	1545	天文14年8月5日	河幡俊貞田地売券		

連番	略号	西暦	年月日	史料名	備考	
122	新 A18		天文14年11月18日	金乗坊最盛田地寄進状	A1 と共に (包紙)「万供田証文 二通」「村大村河瀬彦左衛門より買 徳之証文 式通」に入る	
123	新 B12	1551	天文20年9月21日	長久寺太輔良衆・乗門連署田地売券		
124	広大10		天文20年12月26日	□政田地売券		
125	新 A19		天文20年12月26日	殿村喜兵衛尉秀取・松堯田地売券案		
126	帳簿03		天文20年力	年中日記		
127	新 B36	1552	天文21年5月12日	真海田地売券		
128	新 B22	1556	弘治2年3月5日	乗門田地売券		
129	新 C22	1557	弘治3年12月18日	法印貞門隠居寺領証状		
130	新 C13	1558	弘治4年3月3日	高番平内田地寄進状		
131	新 A29		弘治4年6月13日	祖父谷新蔵坊有新田地売券		
132	三井23		永禄1年7月7日	麻生定吉他三名連署畠寄進状		
133	新 A02		永禄1年8月1日	富施寺慶春壺供田寄進状		
134	新 B03		永禄1年10月29日	新元田地売卷		奥より裏にかけて真垣名の坪付を 書す。
135	新 C03	1559	永禄2年12月21日	柏原家治田地寄進状		
136	広大11	1560	永禄3年3月5日	道清田地売券		
137	新 C20	1560	永禄3年10月8日	弥高寺成就坊田地寄進状案		
138	新 A22	1561	永禄4年2月26日	岩谷太郎兵衛吉久田地寄進状		
139	新 B14	1562	永禄5年2月10日	実直・日直連署田地売券		
140	新 B04		永禄5年10月23日	樋口重清田地寄進状		
141	帳簿04	1564	永禄7年9月 日	成菩提院納帳		
142	新 A41	1567	永禄10年3月27日	清瀧村小四郎田地寄進状		
143	郡志08	1568	永禄11年8月 日	織田信長禁制		
144	新9501	1578	天正6年	川成注文	新出	
145	郡志11	1582	天正10年12月 日	丹羽長秀・羽紫秀吉連署禁制	兵糧 真垣名 内徳抜地 五郎太 夫 東大史料影写本① 九州御動座 東大史料影写本② 東大史料影写本③ 東大史料影写本④ 大野木郷 東大史料影写本⑥ 東大史料影写本⑦ 名護屋見廻 東大史料影写本⑧ 東大史料影写本⑨ 新出 東大史料影写本⑧ 東大史料影写本⑩ 柏庭庵 周興 東大史料影写本⑤	
146	郡志12	1583	天正11年2月20日	箕浦秀清書状		
147	広大12	1584	天正12年12月28日	河橋力重口田地売券		
148	郡志13	1585	天正13年6月13日	柏隠書状		
149	郡志17	1587	天正15年6月2日	豊臣秀吉朱印状		
150	郡志18		天正15年6月3日	富田一白書状		
151	郡志19		天正15年6月3日	賀藤彦一書状		
152	郡志14		天正15年11月29日	田中吉政書状		
153	新 A45	1588	天正16年10月11日	富田新左衛門尉俊実・富田吉蔵連署 田地寄進状		
154	新 A34		天正16年10月21日	富田彦八郎田地寄進状		
155	郡志15	1591	天正19年4月23日	豊臣秀吉朱印状		
156	郡志16	1592	文禄1年5月2日	豊臣秀吉朱印状		
157	郡志21	1596	文禄5年3月1日	石田三成成菩提院村掟		
158	新 A25	1597	慶長2年2月25日	清瀧八郎兵衛畠寄進状		
159	郡志22	1600	慶長5年9月 日	小早川秀秋禁制		
160	新 A24		慶長5年10月25日	吉十郎・源八郎等連署斗請覚		
161	広大13	1601	慶長6年4月3日	八郎兵衛田地寄進状		
162	新9401		室町時代2月18日	貞成書状	新出	
163	影写01		室町時代3月11日	元教書状	東大史料影写本⑧	
164	影写02		室町時代3月22日	某書状	東大史料影写本⑩	
165	郡志09		室町時代5月7日	殿村平清書状	東大史料影写本⑤	

『成菩提院文書』の総合的研究

連番	略号	西暦	年月日	史料名	備考
166	郡志06		室町時代 8月28日	箕浦秀誠書状	弥高寺大蔵坊 東大史料影写本⑥
167	新C04		室町時代 9月13日	妙香庵寄進状	
168	郡志25		室町時代 9月20日	石川長門守・彦坂小刑部連署書状	東大史料影写本⑫
169	郡志10		室町時代 10月27日	箕浦秀澄書状	箕川遠藤分 東大史料影写本⑦
170	郡志07		室町時代 11月7日	河毛清元・大津秀澄連署書状	柏原西方落地 東大史料影写本⑨
171	郡志26		室町時代 11月14日	西尾吉次書状	
172	帳簿05		室町時代	成菩提院納帳	
173	新A27		室町時代	行泉靈供田証文	
174	新C06		室町時代	定海田地寄進状	
175	新9402	1570	安土桃山 2月4日	豊臣秀吉朱印状	新出
176	郡志20		安土桃山 3月4日	増田長盛書状	
177	新9403		安土桃山 3月20日	豊臣秀吉朱印状	新出
178	新9404		安土桃山 5月7日	豊臣秀吉朱印状	新出
179	影写03		安土桃山 11月28日	田中吉政書状	東大史料影写本⑮
180	郡志23	1608	慶長13年 10月4日	徳川家康安堵状	東大史料影写本⑳
181	新9405		慶長13年 10月4日	徳川秀忠黒印状	新出
182	郡志24		慶長13年 10月7日	徳川家康成菩提院法度状	
183	新9406	1613	慶長18年 4月6日	徳川秀忠判物写	新出
184	新A47	1652	慶安5年 8月26日	本光・刑部・庄大夫・兵左衛門連署 田島わりの覚	
185	新C07	1676	延宝4年 2月5日	日牌・月牌靈供料請取状	
186	新A28	1721	享保6年 11月16日	三左衛門畑地渡状	
187	新C23	1603	江戸時代	田地注文断簡	三紙
		1867			

(2) 中世文書所蔵別・所収別編年目録

連番	略号	西暦	年月日	史料名	備考
4	郡志01	1394	明德5年 2月10日	殿村導一田地売券	秘斗 応永7年の裏書あり。
5	郡志02	1400	応永7年 12月1日	権律師実田地譲状	1号文書に関連。
107	郡志03	1534	天文3年 12月16日	浅井亮政書状	大沢小次郎 日光寺 東大史料影写本①
117	郡志04	1543	天文12年 6月8日	馬場吉久書状	大蔵坊 東大史料影写本②
119	郡志05	1544	天文13年 9月10日	堀元積書状	東大史料影写本③
166	郡志06	1334	室町時代 8月28日	箕浦秀誠書状	弥高寺大蔵坊 東大史料影写本⑥
170	郡志07	1602	室町時代 11月7日	川毛清元・大津秀澄連署書状	柏原西方落地 東大史料影写本⑨
143	郡志08	1568	永禄11年 8月 日	織田信長禁制	
165	郡志09	1334	室町時代 5月7日	殿村平清書状	柏庭庵 周興 東大史料影写本⑤
169	郡志10	1602	室町時代 10月27日	箕浦秀澄書状	箕川遠藤分 東大史料影写本⑦
145	郡志11	1582	天正10年 12月 日	丹羽長秀・羽柴秀吉連署禁制	
146	郡志12	1583	天正11年 2月20日	箕浦秀清書状	柏庭庵 東大史料影写本④
148	郡志13	1585	天正13年 6月13日	柏隠書状	兵粮 真垣名 東大史料影写本⑪
152	郡志14	1587	天正15年 11月29日	田中吉政書状	大野木郷 東大史料影写本⑯
155	郡志15	1591	天正19年 4月23日	豊臣秀吉朱印状	東大史料影写本⑰
156	郡志16	1592	文禄1年 5月2日	豊臣秀吉朱印状	名護屋見廻 東大史料影写本⑱
149	郡志17	1587	天正15年 6月2日	豊臣秀吉朱印状	九州御動座 東大史料影写本⑲

連番	略号	西暦	年月日	史料名	備考
150	郡志18		天正15年6月3日	富田一白書状	東大史料影写本③
151	郡志19		天正15年6月3日	賀藤彦一書状	東大史料影写本④
176	郡志20	1570	安土桃山3月4日	増田長盛書状	
		1602			
157	郡志21	1596	文禄5年3月1日	石田三成成菩提院村掟	東大史料影写本⑨
159	郡志22	1600	慶長5年9月日	小早川秀秋禁制	
180	郡志23	1608	慶長13年10月4日	徳川家康安堵状	東大史料影写本⑫
182	郡志24		慶長13年10月7日	徳川家康成菩提院法度状	
168	郡志25	1334	室町時代9月20日	石川長門守・彦坂小刑部連署書状	東大史料影写本⑮
171	郡志26	1602	室町時代11月14日	西尾吉次書状	
109	帳簿01	1534	天文3年12月日	年中雜々	
120	帳簿02	1544	天文13年力	年中日記	
126	帳簿03	1551	天文20年力	年中日記	
141	帳簿04	1564	永禄7年9月日	成菩提院納帳	
172	帳簿05	1334	室町時代	成菩提院納帳	
		1602			
8	三井01	1434	永亨6年1月28日	大吉寺真蔵坊実舜島地寄進状	大吉寺真蔵坊 舜海 舜門
9	三井02	1438	永亨10年12月13日	柏原正賢下地売券	
10	三井03		永亨10年12月13日	柏原正賢坪付	
12	三井04	1449	宝徳1年12月18日	弥六兵衛長光田地寄進状	
22	三井05	1464	寛正5年6月29日	宗教田地売券	
28	三井06	1475	文明7年5月26日	尊祐田地寄進状	
38	三井07	1486	文明18年2月18日	宮河俊信田地売券	
41	三井08		文明18年8月26日	十乗房善村田地売券	
53	三井09	1494	明応3年6月吉日	明林讓状案	
55	三井10	1496	明応5年11月1日	円日房田地売券	
56	三井11	1497	明応6年12月6日	正運庵理正田地売券	
60	三井12	1502	文亀2年2月12日	山根新兵衛島地売券案	
67	三井13	1506	永正3年3月26日	大沢宗信田地売券	
68	三井14		永正3年10月20日	桑原慶珍田地寄進状案	
70	三井15	1507	永正4年11月16日	上田清秀田地売券	
72	三井16	1512	永正9年1月5日	正順田地寄進状	
77	三井17	1515	永正12年3月6日	殿村家世田地売券	
90	三井18	1523	大永3年2月22日	殿村家世田地売券	一段
91	三井19		大永3年2月22日	殿村家世田地売券	小
99	三井20	1528	享禄1年3月1日	西方百姓中田地売券	
101	三井21		享禄1年12月20日	定聚坊心祐田地売券	
129	三井22	1557	弘治3年12月18日	法印貞円隠居寺領証状	
132	三井23	1558	永禄1年7月7日	麻生定吉他三名連署島寄進状	
7	広大01	1431	永亨3年9月4日	道仏田地売券	
29	広大02	1478	文明10年11月3日	太郎兵衛・藤三郎連署田地売券	
13	広大03	1452	享徳1年9月晦日	千兼力讓状	
31	広大04	1482	文明14年11月16日	右太郎・右二郎田地売券	
48	広大05	1488	長享2年7月13日	弥高寺伊勢田地売券	
51	広大06	1493	明応2年6月12日	中坊円日如法行田寄進状	
59	広大07	1501	文亀1年11月27日	神田彦衛門島地売券	
85	広大08	1520	永正17年12月27日	河瀬彦右衛門俊久田地売券	

『成菩提院文書』の総合的研究

連番	略号	西暦	年月日	史料名	備考
93	広大09	1523	大永3年6月2日	出河小三郎定次田畠売券	
124	広大10	1551	天文20年12月26日	□政田地売券	
136	広大11	1560	永禄3年3月5日	道清田地売券	
147	広大12	1584	天正12年12月28日	河橋力重□田地売券	
161	広大13	1601	慶長6年4月3日	八郎兵衛田地寄進状	
163	影写01	1334	室町時代3月11日	元教書状	東大史料影写本⑧
164	影写02	1602	室町時代3月22日	某書状	東大史料影写本⑩
179	影写03		安土桃山11月28日	田中正吉書状	東大史料影写本⑮
162	新9401		室町時代2月18日	貞成書状	新出
175	新9402	1570	安土桃山2月4日	豊臣秀吉朱印状	新出
177	新9403	1602	安土桃山3月20日	豊臣秀吉朱印状	新出
178	新9404		安土桃山5月7日	豊臣秀吉朱印状	新出
181	新9405	1608	慶長13年10月4日	徳川秀忠黒印状	新出
183	新9406	1613	慶長18年4月6日	徳川秀忠判物写	新出
144	新9501	1578	天正6年	川成注文	新出
6	新9502	1422	応永29年9月13日	権大僧都豪乗力血脈	新出
94	新A01	1523	大永3年12月26日	西脇直勝・同勝正連署田地寄進状	A2と共に(包紙)「万供田証文二通」「村木村河瀬彦左衛門より買徳之証文式通」に入る
133	新A02	1558	永禄1年8月1日	富施寺慶春霊供田地寄進状	A1と共に(包紙)「万供田証文二通」「村木村河瀬彦左衛門より買徳之証文式通」に入る
74	新A03	1514	衛正11年8月10日	妙秀田地寄進状案	
21	新A04	1462	寛正3年9月28日	今河衛門田地寄進状	
2	新A05	1388	嘉慶2年4月23日	維那賢弥・監寺聖珠連署免除状	袖判あり。A23と同。
26	新A06	1469	応仁3年2月23日	上津俊定畠地売券	
61	新A07	1502	文亀2年6月26日	桑原俊明・同兵衛六郎下地寄進状案	道蓮
32	新A08	1483	文明15年4月5日	清瀧寺西蔵坊兼海田地売券	
96	新A09	1528	大永8年2月15日	高橋栄乗田地寄進状	
87	新A10	1522	大永2年11月2日	宗慶田地売券	
66	新A11	1504	永正1年7月16日	堤藤左衛門尉家次田地寄進状	
111	新A12	1536	天文5年2月26日	居益郷永聚庵理栄田地寄進状	
42	新A13	1486	文明18年12月26日	清瀧寺維那・同監寺連署柏原重沢名補任状	
110	新A14	1535	文明4年9月26日	弥高寺大蔵坊名田寄進状	
50	新A15	1493	明応2年6月3日	巳高山中坊栄禅田畠売券	買主空白。
24	新A16	1465	寛正6年12月	真恒半名坪付	
39	新A17	1486	文明18年2月23日	尼如貞田地寄進状	
122	新A18	1545	天文14年11月18日	金乗坊最盛田地寄進状	
125	新A19	1551	天文20年12月26日	殿村喜兵衛尉秀取・松堯田地売券案	123の案文。
75	新A20	1514	永正11年8月10日	大野木郷妙楽寺田地寄進状案	
57	新A21	1497	明応6年12月26日	真恒半名坪付	
138	新A22	1561	永禄4年2月26日	岩谷太郎兵衛吉久田地寄進状	
3	新A23	1388	嘉慶2年4月23日	維那賢弥・監寺聖珠連署免除状	袖判あり。
160	新A24	1600	慶長5年10月25日	吉十郎・源八郎等連署斗請覚	
158	新A25	1597	慶長2年2月25日	清瀧八郎兵衛畠寄進状	
35	新A26	1484	文明16年2月13日	清瀧寺維那代全盈・全等連署為次名補任状	

連番	略号	西暦	年月日	史料名	備考
173	新 A27		室町時代	行泉靈供田証文	
186	新 A28	1721	享保 6 年 11 月 16 日	三左衛門畑地渡状	
131	新 A29	1558	弘治 4 年 6 月 13 日	祖父谷新藏坊宥新田地売券	
14	新 A30	1458	長祿 2 年 2 月 19 日	妙範あさ島売券	
37	新 A31	1458	文明 17 年 6 月 26 日	金藏坊源□下地売券	
15	新 A32	1458	長祿 2 年 2 月 19 日	妙範あさ島売券	
44	新 A33	1487	文明 19 年 6 月 5 日	柏原今河住人衛門田地寄進状	
154	新 A34	1588	天正 16 年 10 月 21 日	富田彦八郎田地寄進状	
78	新 A35	1515	永正 12 年 10 月 16 日	河瀬孫四郎利久島地寄進状	
108	新 A36	1534	天文 3 年 12 月 26 日	名超寺新藏坊光尊田島売券	
58	新 A37	1500	明応 9 年 3 月	如養田地売券	
34	新 A38	1484	文明 16 年 2 月 12 日	清瀧寺維那住持代全盈・監寺全等連署為次名補任状	
1	新 A39	1360	延文 5 年閏 4 月 17 日	阿忍真恒名年貢未進証文	
97	新 A40	1528	大永 8 年 2 月 15 日	高橋左近將監清家榮乘鐘突田寄進状	
142	新 A41	1567	永祿 10 年 3 月 27 日	清瀧村小四郎田地寄進状	
11	新 A42	1439	永享 11 年 1 月 26 日	清瀧寺忍宗田地寄進状	
98	新 A43	1528	大永 8 年 2 月 15 日	高橋左近將監清家榮乘鐘突田寄進状	
52	新 A44	1493	明応 2 年 6 月 12 日	榮禪・円日連署如法経田寄進状	
153	新 A45	1588	天正 16 年 10 月 11 日	富田新左衛門尉俊実・富田吉藏連署田地寄進状	
27	新 A46	1469	応仁 3 年 2 月 23 日	法印春海島地寄進状	
184	新 A47	1652	慶安 5 年 8 月 26 日	本光・刑信・庄大夫・兵左衛門連署田島わりの覚	
19	新 B01	1462	寛正 3 年 5 月 日	名超寺成乗坊朝舜田地売券	
84	新 B02	1520	永正 17 年 4 月 26 日	河幡孫衛門・与次郎田地売券	
134	新 B03	1558	永祿 1 年 10 月 29 日	親元田地売券	
140	新 B04	1562	永祿 5 年 10 月 23 日	樋口重清田地寄進状	奥より裏にかけて真恒名の坪付を書す。
73	新 B05	1512	永正 9 年 4 月 26 日	常望房豪寛田地売券	
83	新 B06	1520	永正 17 年 4 月 2 日	殿村家世・同小法師連署年貢売券	
64	新 B07	1502	文亀 2 年 7 月 10 日	能仁寺覚旧下地売券	
102	新 B08	1529	享祿 2 年 10 月 吉日	河内清為田地売券	
80	新 B09	1517	永正 14 年 3 月 16 日	殿村又三郎田地売券	
79	新 B10	1515	永正 12 月 12 月 5 日	殿村家世田地売券	
89	新 B11	1522	大永 2 年 12 月 24 日	殿村家世田地売券	
123	新 B12	1551	天文 20 年 9 月 21 日	長久寺太輔良衆・乗門連署田地売券	
121	新 B13	1545	天文 14 年 8 月 5 日	河幡俊貞田地売券	
139	新 B14	1562	永祿 5 年 2 月 10 日	実直・日直連署田地売券	
103	新 B15	1531	享祿 4 年 1 月 26 日	玉藏坊円日・同周□田地売券	
115	新 B16	1538	天文 7 年 4 月 10 日	清瀧寺重雄居屋敷売券	
65	新 B17	1502	文亀 2 年 12 月 13 日	大野木庄司某田地売券	
20	新 B18	1462	寛正 3 年 5 月 日	成乗坊朝舜名田売券	
47	新 B19	1488	長享 2 年 2 月 日	正観院鏡還名売券	恒広名
88	新 B20	1522	大永 2 年 12 月 3 日	殿村房宗田地売券	
114	新 B21	1537	天文 6 年 5 月 16 日	実生寺重雄田地売券	
128	新 B22	1556	弘治 2 年 3 月 5 日	乗門田地売券	
71	新 B23	1510	永正 7 年 5 月 10 日	殿村家世田地売券案	

『成菩提院文書』の総合的研究

連番	略号	西暦	年月日	史料名	備考	
49	新 B24	1488	長享 2 年12月17日	今村円正・妙願・右近・左近連署畠地売券	裏書あり。	
106	新 B25	1534	天文 3 年12月 3 日	遠藤秀宗田地売券		
100	新 B26	1528	大永 8 年 6 月26日	練禅坊心祐田地販売券		
112	新 B27	1536	天文 5 年11月16日	実生寺重雄田地売券		
45	新 B28	1487	長享 1 年10月 3 日	南衆永金畠地売券案		
86	新 B29	1522	大永 2 年 4 月24日	殿村家世田地売券		
33	新 B30	1483	文明15年 4 月 5 日	清瀧寺西蔵坊兼海田地売券案		
40	新 B31	1486	文明18年 5 月16日	中井俊長・長寿庵如養連署下地売券		
95	新 B32	1526	大永 6 年12月27日	室上太郎右衛門田地売券		
36	新 B33	1485	文明17年 5 月19日	殿村平六経浄田地売券		
105	新 B34	1533	天文 2 年12月28日	満願寺全深田地売券		
17	新 B35	1460	長禄 4 年12月 2 日	田住左近名田売券		
127	新 B36	1552	天文21年 5 月12日	真海田地売券		
113	新 C01	1537	天文 6 年 3 月15日	遠藤秀宗田地売券		
82	新 C02	1519	永正16年 8 月11日	西河家満田地寄進状		
135	新 C03	1559	永禄 2 年12月21日	柏原家治田地寄進状		
167	新 C04		室町時代 9 月13日	妙香庵寄進状		
104	新 C05	1531	享禄 4 年 2 月 5 日	永聚庵理永田地寄進状		
174	新 C06		室町時代	定海田地寄進状		
185	新 C07	1676	延宝 4 年 2 月 5 日	日牌・月牌盡供料請取状		
81	新 C08	1519	永正16年 2 月吉日	多賀直信田地寄進状		
23	新 C09	1464	寛正 5 年 6 月29日	大吉寺梅本坊慶舜田地寄進状		
69	新 C10	1506	永正 3 年12月 3 日	増藤家次田地売券		
62	新 C11	1502	文亀 2 年 6 月26日	桑原信明・同兵衛六郎連署下地寄進状案		
54	新 C12	1494	明応 3 年11月10日	円日田地寄進状		
130	新 C13	1558	弘治 4 年 3 月 3 日	高番平内田地寄進状		
25	新 C14	1468	応仁 2 年 6 月18日	春海田地寄進状		
16	新 C15	1459	長禄 3 年 5 月18日	妙永田地譲状		
43	新 C16	1487	文明19年 3 月 3 日	殿村吉重田地寄進状		
92	新 C17	1523	大永 3 年 2 月22日	清瀧寺納所癸球補任状		
18	新 C18	1461	寛正 2 年12月 日	宗教下地証状		
76	新 C19	1514	永正11年12月 2 日	殿村小太郎田地寄進状		
137	新 C20	1560	永禄 3 年10月 8 日	弥高寺成就坊田地寄進状案		
46	新 C21	1488	長享 2 年 1 月吉日	恒弘名田畠坪付注文		
30	新 C22	1480	文明12年12月13日	藤衛門・朝舜連署田地売券		
187	新 C23		江戸時代	田地注文断簡		三紙
118	新 C24	1544	天文13年 1 月11日	桑原覚心地寄進状案		
63	新 C25	1502	文亀 2 年 6 月26日	桑原俊明・同兵衛六郎連署下地寄進状		
116	新 C26	1541	天文10年 6 月18日	長久寺有舜畠地寄進状		

(二) 近世書冊文書

No.	年月日	資料名(内容)	差出人→請取人	形態・数量
1	天正19・極・10	田古新帳	成菩提院→	冊 1
2	慶長 2・ 2・24	成菩提院之事柏原清滝岩谷田畑水帳以 悉見定也(※検面又ハ古帳一所二書也)		冊 3
3	慶長 4・11・27	(検地帳)(柏原・西村分成菩提院領書 上帳)	西川久兵衛成吉→	冊 3
4	慶長 7・ 9・21	江州坂田郡柏原成菩提院領御検地帳 (※徳永院正ノ写2別置)		冊 3
5	慶長 7・ 9・21	江州坂田郡柏原成菩提院領御検地帳		冊 1
6	慶長 7・	江州坂田郡柏原成菩提院領御検地帳		冊 1
7	慶長13・~	公儀代々御朱印之写		冊 1
8	慶長18・ 寛永 3・	慶長十八年寛永三年御條日写(別置)		冊 1
9	寛永10・卯・28	近江柏原成菩提院下末寺書付(別置)	→東□院	冊 1
10	明暦元・ 9・	成菩提院什物帳	憲海寄進→	冊 1
11	(近世初期)	(御朱印百拾石帳)		冊 1
12		(検地帳, 戦国期寄進等の註記有り)		冊 1
13	寛文 2・11・24	定(講銀しち入)	大吉寺惣中→	横 1
14	寛文 8・ 2・20	灌頂受者重位覚	成菩提院→	冊 1
15	寛文13・ 8・20	成菩提院寄進諸道具之覚	覚林坊→	冊 1
16	延宝 5・ 4・	御朱印帳写成菩提院田畑改帳(秀仙法 印代 増田・徳永打口両帳面改)	門前代官西村長太夫他→	冊 1
17	延宝 5・ 4・	江州坂田郡柏原成菩提院御公儀地五ヶ 村引附高帳	清瀧理教坊外13→	冊 1
18	延宝 5・ 5・17	江州坂田郡柏原成菩提院領御検地々引 帳		冊 1
19	延宝 5・ 5・17	江州坂田郡柏原成菩提院御朱印地御検 地帳	村田加左衛門・荒居治太夫→	冊 2
20	延宝 5・ 5・	検地奉行衆宿手形(五通有)	成菩提院	冊 1
21	延宝 5・12・ 8	成菩提院田畑宛口帳	清瀧寺利教坊外18→当住秀仙法印	冊 1
22	延宝 6・正・	万差引日記(大吉寺福聚坊)		小横 1
23	延宝 6・ 9・	奉賀帳(柏原町・長久寺村・大野木村)	成菩提院→	冊 2
24	延宝 7・ 7・19	江州坂田郡柏原成菩提院御朱印地御検 地帳	井伊玄蕃頭内戸塚佐太夫・内山太左衛 門→	冊 1
25	延宝 7・ 9・ 6	(御案渡御之次第外)		横 2
26	延宝 7・12・16	成菩提院御公方也		冊 1
27	延宝 7・12・17	成菩提院田畑宛口帳	門前西村長太夫他→当住秀仙法印	冊 1
28	延宝 8・ 7・28	成菩提院寄進諸道具之覚	秀仙→	冊 1
29	天和 4・	灌頂受者瑜祇	成菩提院→	冊 1
30	貞享 2・ 9・	(利覚寺召上尋方)		冊 1
31	貞享 3・ 9・28	成菩提院什物并諸道具帳	清瀧寺万徳坊他→	冊 1
32	元禄 2・ 5・16	成菩提院諸道具覚	泉明院外→	冊 1
33	元禄 4・ 3・25	改岸本坊昌号去忍坊田畑山林諸道具帳		横 1
34	元禄 4・ 3・	改慶住坊昌号松尾寺智禅坊田畑山林諸 道具帳		横 1
35	元禄 5・11・ 3	仏前諸道具引渡帳	行栄坊→万徳房他	冊 2
36	元禄 5・11・	霊宝帳(当寺代々霊宝帳)	成菩提院→	冊 1
37	元禄 9・ 2・ ~天明 4・	送り手形綴	次川村庄屋彦内→泉明院外	綴 1

『成菩提院文書』の総合的研究

No.	年月日	資料名(内容)	差出人→請取人	形態・数量
38	元禄11・3・10 ～宝暦12・3	当院末寺中本寺証文扣入并且那中寺送証文扣入(住職交替人別送状表紙の年代は宝暦9年2月13件綴)	善応法印院代慈愍院改之→	綴 1
39	元禄13・12	近江国坂田郡柏原宿寺附高除地帳之写(明治2年提出)	雨宮庄九郎→	冊 1
40	(元禄13)	元禄年中第二十七世秀尊大僧正御代公儀江書上帳(寺中明細帳・嘉永六年古帳之内より此帳面ヲ出ス四十一世亮秀)		冊 1
41	元禄14・11	名寄斗代什帳	三光院→	冊 1
42	正徳5・4	成菩提院領地押明細帳		冊 1
43	宝永7・3・10	安能寺什物帳(奥書は享保5年12月2日・29日の日付あり)	安能寺即道惣旦那→広瀬丹治・柴嶋丈右衛門	横 1
44	享保2・2・6	仏前道具引渡帳	三十七世丞然法類妙忍坊代官新井主税→	冊 1
45	享保2・6	成菩提院領地押明細帳(内容は正徳5年4月)	清滝寺万徳坊外12→	冊 1
46	享保4・5・10	念仏堂什物帳		冊 1
47	享保6・4・23	大吉寺泉覚院山林畑覚		横 1
48	享保6・4	宝覚坊寺附日録	宝覚坊→	横 1
49	享保6・霜・晦	村中念仏講帳	念仏堂→	横 1
50	享保7・7	享保七壬寅年七月御触書之写	寂照山役所→	冊 1
51	享保8・3・朔 ～寛保元・4・12	成菩提院末寺継目録	院代浄光院→	冊 1
52	享保8・7・2	勝光寺什物覚帳		横 1
53	享保9・9	明細帳市場寺(書式共)	柏原駅市場寺→細田半介・大山五郎左衛門他	冊 2
54	享保10・10・19	宝学坊什物・山林畑覚帳		横 2
55	享保10・10	中尾坊什物覚帳		横 1
56	享保11・3	市場寺門前午年宗旨改人別帳		冊 2
57	享保12・閏正	真乗坊跡諸色帳	松尾寺一山中→院代玄乗院広瀬丹治	冊 1
58	享保12・閏正	実蔵坊跡諸色帳	松尾寺坊組一山中→院代玄乗院法印・広瀬丹治	冊 1
59	享保12・4	中尾坊畑当口之覚		横 1
60	享保12・12・8	(銀子預り)	大吉寺惣中→玄乗院他	横 1
61	享保18・8・3	成菩提院霊宝帳(書画等寺宝書上)	澄明院→	冊 1
62	享保18・8・3	成菩提院諸道具引渡覚帳	広瀬帯刀→	冊 1
63	享保18・8	成菩提院仏前道具引渡帳	澄明院→	冊 1
64	享保19・4・14~	撮要記	院代三嶽院→	小横 1
65	享保19・8	御入院・御逗留中諸用記		小横 1
66	享保19	谷汲山地蔵院永代祠堂寄附帳		冊 1
67	享保20・3	宗門帳(旦那須川村・小田村・北池村・常喜村・関原村・野上村)		冊 1
68	元文元・12	真乗坊跡請払勘定帳	役者養運院・正寿院→	冊 1
69	元文2・正・13	大吉寺松住院寺徳并什物覚帳(松住院跡年貢勘定帳共)	大吉寺徳明坊→成菩提院役人奥村治郎右衛門	横 4
70	元文2・3	中尾坊勘定帳	徳明坊・法性坊→奥村治郎右衛門・本学院	横 1
71	元文2・5	河内村常福寺歴代記	河内村常福寺→	横 1
72	元文3・8	名寄斗代付高帳	真休庵他→成菩提院役人	冊 1
73	元文4・正	念仏講覚帳		冊 1
74	元文5・7	密蔵坊跡諸色請払帳	松尾寺一山中→	冊 1

No.	年月日	資料名(内容)	差出人→請取人	形態・数量
75	寛保元・4・13	正観院前大僧正俊静代		冊 1
76	寛保元・10・23	大吉寺福聚坊本院并山林境内諸道具什物帳	徳明坊→院代積善院	横 1
77	寛保 2・2・26	田畑山徳米覚帳	明越寺千蔵坊→積善院	冊 1
78	寛保 2・閏4・	指上申訳証文(美濃谷汲山普門院観音開帳一件)	在中惣代大野木村桑原六郎左衛門→積善院	冊 1
79	寛保 2・12・	浄教坊跡諸道具田畑山林帳	蓮乗坊→岸本坊他	冊 1
80	寛保 3・9・	吉祥院坊跡記立銀覚	宝生坊他→円智院	横 1
81	寛保 3・9・	松寿院跡記立銀帳	宝生坊他→円智院	横 1
82	寛保 3・9・	大吉寺徳明坊跡什物帳	宝生坊他→円智院	横 1
83	延享元・5・	谷汲山普門院什物帳写(延享元年無主)		横 1
84	延享 2・8・	三光院田地改帳		冊 1
85	延享 2・8・	(田地吟味帳)	開基且中惣代高井寿証→	冊 1
86	延享 2・11・	柏原宿成菩提院檀那軒数覚帳(河内・須川・小田・大野木・清滝・北池・常喜・名越・長岡・杉沢村分とも)	柏原惣檀中→	冊 1
87	延享 2・11・	本末御改帳	市場寺・院代円智院→	冊 1
88	延享 2・閏極・ ~寛延 2・3・	当院御朱印改並頂戴一件記	寂照山三十三代善応法印代→	冊 1
89	延享 3・2・	寺格書上帳	湖東成菩提院→滋賀院御留守居山門三執行代	冊 1
90	寛延 2・正・ ~寛延 2・9・	濃州伊自良三光院辰ノ年収納受払帳	高井寿仙→院代円智院	冊 3
91	寛延 4・2・ ~天明 2・4・	当院ノ指出シ候寺送り手形留		冊 1
92	寛延 4・8・	庫裏之図并材木入用帳	濃州三光院→慈愍院	冊 1
93	宝暦元・11・	(灌頂未授者書上, 宝暦2年・13年灌頂関係とも)	長岡村安能寺→慈愍院	冊 1 横 2
94	宝暦 2・霜・9	能愛瀬村青木社頭明細帳(青木社頭宮様支配に付)	松尾寺→	一括
95	宝暦 3・8・	宝城坊跡什物帳	大吉寺宝生院→	横 1
96	宝暦 3・11・	養運院寺什物御除地山林寺領田畑買附仏俱田出作田地帳	養運院隠居栄般→御一山御衆中	冊 1
97	宝暦 3~7・	(明静院跡関係一括)	松尾寺→	冊 8
98	宝暦 7・5・ ~宝暦13・	明越寺地徳帳・臈次帳		冊 2
99	宝暦 8・11・	安能寺諸色諸道具帳	観音寺修善院且那惣代田中重右衛門・次郎右衛門→慈愍院法印・宮永源蔵	横 1
100	宝暦11・11・	正学坊跡積銀勘定帳	松尾寺一山中→慈愍院	冊 1
101	宝暦12・閏5・	松住寺跡畑山林道具	大吉寺→慈愍院	冊 1
102	宝暦12・3・	小室勝光寺什物帳	福聚院法類松尾寺正寿坊→慈愍院法印森監物	冊 1
103	宝暦12・5・	坂田郡河内村常福寺本末什物帳	常福寺→慈愍院	冊 1
104	明和 2・3・ ~明和 7・	宗門人別改帳(松沢村・長岡村・北池村)		冊 4
105	明和 2・3・	御神忌御法会中留(包紙「明和3年4月東照宮百五十年御神忌二付当山三十三世栄運大僧都下向記録一冊…」とあり)		小横 1
106	明和 2・3・	(観音寺塔頭書上)		冊 1
107	明和 4・4・	石堂寺什物帳	清滝村庄屋藤左衛門→成菩提院	冊 1
108	明和 6・11・	福聚院什物并畑山林道具帳	大吉寺→成菩提院	冊 1

『成菩提院文書』の総合的研究

No.	年 月 日	資料名 (内容)	差出人→請取人	形態・数量
109	明和 7・3・	明星山諸色道具御改帳(寛政3年改)	泉明院留守居成願房→	冊 1
110	安永 5・9・	寺録御改帳	谷汲山華嚴寺→寂照山御院代・地藏院 法印・磯部仙治	冊 1
111	安永 5・11・	寺録分限御改帳(成菩提院・常福寺・ 妙楽寺・勝光寺・妙徳院)		冊 6
112	安永 8・10・9	谷汲一山日記		冊 1
113	安永 9・正・ ~文政11・3・9	開帳礼録記		冊 1
114	安永 9・3・	(方丈遷化等に付)	安能寺→	冊 1
115	安永 9・6・	人別御改帳	御門前中→八木橋歛蔵	冊 1
116	安永 9・7・	人別御改帳	松尾寺→安能寺法印・八木橋歛蔵	冊 1
117	安永 9・7・	人別御改帳	大吉寺→安能寺法印・八木橋歛蔵	冊 1
118	安永 9・7・	人別御改帳	大野木村神宮寺・妙楽寺預り主桑原新 兵衛→	冊 1
119	安永 9・7・	人別御改帳	浅井郡三河村光明寺→安能寺法印・八 木橋歛蔵	冊 1
120	安永 9・7・	人別御改帳	長岡村安能寺→八木橋歛蔵・安能寺法 印	冊 1
121	安永 9・7・	人別御改帳	観音寺→八木橋歛蔵・安能寺法印	冊 1
122	安永 9・7・	人別御改帳(人別御改帳 2冊の綴)	小室弥勒寺・山室小倉寺→八木橋歛蔵 ・安能寺法印	冊 1
123	安永 9・7・	人別御改帳	泉明院→八木橋歛蔵・安能寺法印	冊 1
124	安永 9・7・	人別御改帳	日光寺→八木橋歛蔵・安能寺法印	冊 1
125	安永 9・7・	人別御改帳	市場寺→八木橋歛蔵・安能寺法印	冊 1
126	安永 9・7・	人別御改帳	常福寺→八木橋歛蔵・安能寺法印	冊 1
127	安永 9・7・	人別御改帳	明超寺→八木橋歛蔵・安能寺法印	冊 1
128	安永 9・7・	人別御改帳	菅生寺預り篠左衛門→安能寺	冊 1
129	安永 9・10・	念仏堂什物帳	観成院→真正院法印・新井主税	冊 1
130	天明 2・閏3・12	覚(観音寺塔頭書上)	観音寺役者妙寿院→正善院	冊 1
131	天明 4・正・25	谷汲山観音入仏供養留記		冊 1
132	天明 5・4・	寂照山什物引渡帳 四冊写(大吉寺分 共)	積門院→	冊 2
133	天明 5・6・	新調覚	法類十乘房→	冊 1
134	天明 5・6・	正観院前大僧正俊静代新帳覚(什物改)	即心院観光代法類十乘房→	冊 1
135	天明 5・6・	成菩提院仏前道具引渡帳 即心院代	十乘房→	冊 1
136	天明 5・6・	成菩提院諸道具引渡覚帳	即心院観音法教十乘房→	冊 1
137	天明 5・6・	成菩提院霊宝帳 即心院代	即心院観音法教十乘房→	冊 1
138	天明 5・ ~天明 7・	諸色諸払帳(初穂納覚帳)	大吉寺→善護院	横 5
139	天明 6・ ~文久元・	成菩提院代官由緒書之覚		冊 1
140	天明 6・7~8	人別御改帳(菅生寺・神宮寺等)		冊 2
141	天明 6・10・	成菩提院年貢地名寄帳		冊 1
142	天明 6・11・	本末御改帳(常福寺・勝光寺・宝谷寺 ・三光院・大吉寺)		冊 5
143	天明 6・11・	寺録御改帳(観音寺・安能寺・石堂寺 ・光明寺・日光寺・妙徳院・華嚴寺・ 小倉寺・名超寺・泉明寺・市場寺・玉 泉院)		冊 11
144	天明 7・3・	宗門御改帳(長岡寺・大野木村・北池 村)		冊 3
145	天明 7・3・	(彦根藩領末寺書上)	坂田郡観音寺→寂照山善護院法印外 1	冊 1

No.	年 月 日	資料名 (内容)	差出人→請取人	形態・数量
146	天明 7・ 5・	寂照山年中行事		冊 1
147	天明 7・ 7・12	成菩提院什物諸道具之内長持入帳		冊 1
148	天明 7・ 7・	平等院什物帳 (跡諸色請弘共)	名超寺千蔵坊→真正院	冊 3
149	寛政元・ 2・21	寛政元己酉年門前屋敷改帳	門前組頭市内外 2→	冊 1
150	寛政元・ 3・	宗門御改帳	大野木村善左衛門→新井主税	冊 1
151	寛政元・ 3・	年戒臈之覚	市場村→新井主税	冊 1
152	寛政元・ 4・	成菩提院靈宝帳	惠恩院慈周代→	冊 1
153	寛政元・ 4・	惠恩院慈周代新寄附覚	惠恩院慈周・役人新井主税・院代真正院→	冊 1
154	寛政元・ 4・	成菩提院諸道具別渡覚帳	惠恩院慈周代→	冊 1
155	寛政元・ 4・	惠恩院御代仏前道具引渡帳并正観院前大僧正俊静代新覚帳, 即心院歎孝法印新覚帳	新井主税・真正院→	冊 1
156	寛政元・ 9・ ~12・	御朱印頂戴記 寂照院卅六世楞伽院義本代		冊 1
157	寛政元・10・ ~寛政 4・ 8・	檀末新寄進帳 寂照院卅六世楞伽院義本代		冊 1
158	(寛政元)・	願書并御裁断書写 (三光院隠居不如法一件)		冊 1
159	寛政 2・正・ ~寛政 4・	平等院跡諸色勘定請弘帳	名超村世話人善左衛門→	横 3
160	寛政 2・ 4・	人別御改帳(日光寺・常照院・一乘院)		冊 3
161	寛政 2・ 6・	常照院借金方覚帳	谷汲山惣中→新井主税	横 1
162	寛政 2・ 6・	常照院什物帳 (地藏院・普門院・明王院・一乘院)	谷汲山地蔵院他→	冊 1
163	寛政 3・ 6・ 4	坂田郡河内村常福寺什物帳	常福寺→	冊 1
164	寛政 3・ 6・ 5	法谷寺什物帳	法谷寺→新井主税	冊 1
165	寛政 3・ 6・	観音寺宝物帳	観音寺→新井主税	冊 1
166	寛政 3・ 6・	石堂寺住 (什) 物帳	石堂寺→新井主税	冊 1
167	寛政 3・ 6・	美濃国山県郡伊自良村三光院什物	莊殿寺・三光院→新井主税	冊 1
168	寛政 3・ 6・	大森村三郎左衛門一件書付写四通	大森村庄屋五郎左衛門→	冊 1
169	寛政 3・	成菩提院金燈籠勸化帳		冊 1
170	寛政 3・	本堂常燈明寄進帳(清滝村・長岡村他)		冊 10
171	寛政 4・閏2・	名越寺寺録分限御改帳	名越寺千蔵院→新井主税	冊 1
172	寛政 4・ 6・	成菩提院并末寺人別御改帳	成菩提院→奉行所	冊 1
173	寛政 5・10・27	從元文五申年毎年引帳	三和伊左衛門→	冊 1
174	寛政 6・ 7・	寺徳買附新普請出来留記	地藏院→	冊 1
175	寛政 6・ 7・	地藏院普請入用覚 (金錢弘覚共)		横 3
176	寛政 6・閏11・	御高壁仕方帳	阿部将兵衛→新井主税	冊 1
177	寛政 7・正・	美濃国谷汲山地蔵院元三大師護摩堂再建		冊 1
178	寛政 8・ 2・	寛政元年修理覚	願王院→	冊 1
179	寛政10・ 5・	柏原成菩提院寺領代官掟		冊 1
180	寛政10・ 5・	人別御改帳	新井主税→全性院法印	冊 1
181	寛政10・ 5・	人別御改帳	門前中→新井主税	冊 1
182	寛政10・ 7・朔	人別改一件東叡山回章留附公儀御触書之写右東叡山回章之始二認来リ	台了房→	冊 1
183	寛政10・ 7・	江州成菩提院并末寺人別御改帳		冊 1
184	寛政10・ 7・	二条人別御改一件留	台了房→	冊 1

『成菩提院文書』の総合的研究

No.	年 月 日	資料名 (内容)	差出人→請取人	形態・数量
185	寛政10・10・7	恵恩院慈周代新寄附什物帳 義本代引渡帳		冊 1
186	寛政10・10・7	願王院義本代新寄附什物渡帳	願王院義本法類台了房→	冊 1
187	寛政10・10・7	成菩提院諸道具部類引渡帳	寂照山役人新井主税→	冊 1
188	寛政10・10・7	成菩提院靈宝帳	寂照山代官新井主税→	冊 1
189	寛政10・11・8	御入院到来記		横 1
190	寛政10・11・	三界万壺所常夜燈奉加帳 (木箱入)		冊 1
191	寛政11・正・	(日記)		冊 1
192	寛政11・12・	末山諸用記		冊 1
193	寛政12・2・~	諸般留 (松尾寺正寿院隠居願外)		冊 1
194	寛政12・5・	院代装束并供廻着用物皆具新什物大帳	預人新井主税→	冊 1
195	寛政12・7・	御朱印地真慶坊収納帳 (法輪院・明王院・一乘院・普内院・地藏院)	谷汲山惣中・新井主税→	冊 1
196	享和元・4・	東叡山清水堂略縁起		冊 1
197	享和2・2・6	諸道具引渡帳 成菩提院第卅七世丞然代	三十七世丞然法類妙忍坊・代官新井主税→	冊 1
198	享和2・2・6	靈宝帳 成菩提院第卅七世丞然代	三十七世丞然法類妙忍坊・代官新井主税→	冊 1
199	(享和2・4・下~)	檀末回向料扣帳		冊 1
200	享和2・11・	谷汲山開帳一件		小横 1
201	享和3・11・	貞舜法印官金之覚		横 1
202	文化2・11・29	今須宿宝谷寺諸什物帳	石堂寺・市場寺→	冊 1
203	文化6・6・12	明星山諸什物御改帳	掛り惣代石堂寺→秀繁法印	冊 1
204	文化7・12・	指上申書上之事 (松尾寺詮寿院勤学房兼帯一件外)	松尾寺本人詮寿院外3→心浄院法印新井主税	綴 1
205	文化11・9・	円住院諸色什物帳 (什物持出一件とも他文書一件綴)		横 1
206	文化12・3・~	小野篁御真筆小安大般若経修覆勸化帳 (小安大般若経六〇〇巻修覆関係書)	円乘院発起心浄院→	一括 14
207	文化15・3・	成菩提院御公方地控帳	柏原宿庄屋源右衛門→	冊 1
208	文化15・4・4	覚 (高帳)	清滝村庄屋→成菩提院役人中	冊 1
209	(文化年中)	(市場寺明細帳)	市場寺秀仙→寺社奉行所	冊 1
210	文政2・7・	甘蔗植付砂糖製作不仕候二付書付	成菩提院役人新井主税→御勘定所	冊 1
211	文政3・正・	山門大会并伝教大師御忌御回章記		冊 1
212	文政3・3・3	御祝米役米渡手扣会印帳	役所→	横 1
213	文政4・12・~文政5・	住職入院等雑簿	三十九世成菩提院円体→	冊 1
214	文政5・閏正・18~文政5・4・朔	(御奉書写等廻状綴)		冊 1
215	文政5・閏正・25	御入院前日並記	龍樹院扣→	冊 1
216	文政5・閏正・25	仏前道具引渡帳 (諸道具引渡帳あり)	三十八世豪忽弟子松尾明寿院・代官新井主税→	冊 2
217	文政5・正・	東叡山巖浄院法印御入院一件 (控)	寂照山役所新井主税→	冊 1
218	文政5・3・~	宗門送手形		冊 1
219	文政5・3・~安政7・正・	寺送手形之事 (人別送状等綴)		綴 1
220	文政5・4・	二条人別御改一件留	新井主税→	冊 1
221	文政5・5・	人別御改帳 (新井主税御門前中, 松尾寺・観音寺・名超寺・泉明院・大吉寺・石堂寺・市場寺・常福寺・安能寺・日光寺 ※寺院人別帳12冊の綴)	→龍樹院・新井主税	綴 1

No.	年 月 日	資料名 (内容)	差出人→請取人	形態・数量
222	文政 5・6・	人別御改二付末山割賦覚	役所新井主税→	横 1
223	文政 5・9・18	明星山諸什物御改帳	寂照山代官新井主税→門前 市内→	冊 1
224	文政 5・	御院領田畑掟帳		冊 1
225	文政 5・	江州成菩提院并末寺人別御改帳		冊 1
226	文政 5・	御院領田畑掟帳	代官新井主税→	冊 1
227	文政 6・正・	御普請御手伝人別帳	檀那世話方中→	冊 1
228	文政 6・2・	普請二付諸事要用記 (廻状・雇人足)	新井主税→	横 1
229	文政 6・2・	(勸化由緒書)	成菩提院現住円体→	冊 1
230	文政 6・2・	本堂勸進帳之事	成菩提院円体→	冊 1
231	文政 6・2・	勸進帳	成菩提院現住円体敬白→	冊 2
232	文政 6・2・	成菩提院本堂庫裏建替一件	三十九世円体代→	冊 1
233	文政 6・2・	檀末助成金出入帳	寂照山役所→	横 1
234	文政 6・3・10~	諸職人日数帳	成菩提院役所→	冊 1
235	文政 6・5・12	普請二付金銭出入扣	寂照山役所→	横 1
236	文政 6・6・	寂照山成菩提院本堂再建諸向施入	院代龍樹院・代官新井主税・肝煎・末 山中・檀那中→	綴冊 3
237	文政 6・9・	中年灌頂御執行向章記	慈明院→龍樹院	冊 1
238	文政 6・12・	御普請金請取之事	清滝村大工嘉右衛門→成菩提院御役人 衆中	小横 1
239	文政 7・正・21	御願書 (濃州南宮一山并深瀬慈明院中 絶二付再興願)	円乘院・妙徳院他24ヶ寺→寂照山龍 樹院・新井主税	冊 1
240	文政 7・正・	御居間小書院疊積書 (疊替見積)		横 1
241	文政 7・正・	本堂諸色什物帳	大吉寺→新井主税	冊 1
242	文政 7・6・	濃州谷汲山御直御支配被仰付候節諸願 書留并御奉書留 (文化4年6月~文 化5年4月まで諸願書留)	成菩提院役新井主税扣→	綴 1
243	文政 7・8・朔	灌頂献立并役割帳 (関係書類綴とも)	寂照山役所新井主税扣→	冊横 1 冊 1
244	文政 7・9・	申渡 (朱印地・除地等の書上・下書)	寂照山役所→	冊 1
245	文政 7・9・	(大吉寺・福聚院相統願等一紙文書33 点)		綴 1
246	文政 7・	市場寺古願書類 (延享2年~天明2 年までの19点市場寺諸願)	寂照山役所→	綴 1
247	文政 7・	諸末寺願書類 (但シ諸山入組三冊之内 (元文4年~天明3年までの諸寺願書 写40点)	寂照山役所→	綴 1
248	文政 8・2・2 ~文政 9・	西ノ年御祝儀米并二役米渡方勘定帳	寂照山役所立合→	横 1
249	文政 8・12・	小書院居間再建入用覚	成菩提院→	冊 1
250	文政 9・正・19	大雪ニ而損所之事	松尾寺一山中→	冊 1
251	文政 9・正・	雜簿 (歴代住持・朱印状・棟札・鐘銘 外)	成菩提院→	冊 1
252	文政 9・正・	文政八酉年大雪二付本堂并寺院向破損 所覚	坂田郡名超寺→	冊 1
253	文政 9・正・	大雪破損御届書	日光寺→	冊 1
254	文政 9・正・	願向京都掛り在京日並記	成菩提院代福聚院→	冊 1
255	文政 9・5・	成菩提院御由緒書 (御免勸化二付由緒 書上 ※3冊の内1冊は年欠・後欠)	成菩提院→	冊 3
256	文政 9・5・	江府願向被申登之旨趣留	成菩提院→	冊 1
257	文政 9・5・	成菩提院御由緒書 (文政10年の由緒 共)	成菩提院→寺社奉行所	冊 3

『成菩提院文書』の総合的研究

No.	年月日	資料名(内容)	差出人→請取人	形態・数量
258	文政9・6・	(大雪二付客殿再建願類, 客殿再建願, 寺院明細, 境内図等4点)	成菩提院→京都奉行所	綴 1
259	文政9・6・	入用勘定帳		冊 1
260	文政9・ ~慶応4・	(寺送り手形等綴)		綴 1
261	文政10・8・15	当院中興祐円法印式百回忌諸留	寂照山役所新井力扣→	冊 1
262	文政11・8・	御免勸化村々御寄進帳	江州柏原郷成菩提院→	冊 1
263	文政10・	檀方入仏事并葬式諸記	寂照山知事→	冊 1
264	文政11・正・穀	田地畑屋敷錠口覚帳	市場寺→	横 1
265	文政11・7・	近江国・越前国・播磨国勸化巡行帳 (「勸化状」の包紙あり)	堀大和守・太田播磨守・松平伊豆守・ 土井大炊頭→近江国・越前国・播磨国 御領私領寺社領諸寺社在町中	横 1
266	文政11・8・	勸化帳序	柏原郷成菩提院→	冊 1
267	文政11・8・	御免勸化寺社御寄進帳	柏原郷成菩提院→	冊 1
268	文政11・8・	西浦行諸事留	泉龍院→	小横 1
269	文政11・8・	勸化寄進帳	江州柏原成菩提院→	冊 1
270	文政11・9・	勸化寄進帳		冊 1
271	文政11・9・	近江国浅井・伊香行諸事留		小横 1
272	文政11・11・	宮様再度準后宣下御上洛二付出京雑簿 全 附り末寺色衣願有之	成菩提院円休→	冊 1
273	文政11・	子年人別御改二付記録	成菩提院役所→	冊 1
274	文政11・	人別御改帳(新井主税・御門前中・松 尾寺・観音寺・名超寺・大吉寺・石堂 寺・常福寺・安能寺・日光寺・泉明寺 寺院別人別帳11冊の綴)	→延迎院・新井主税	綴 1
275	文政12・2・16	世話方衆許所ノ請取渡シ諸事扣	寂照山代官新井主税扣→	横 1
276	文政12・ ~天保10・	哨静院跡勘定帳(天保10年は「哨静 院跡取納勘定帳」)	一山中→寂照山御役人衆	冊 1 横 1
277	文政13・正・	年中陽波記(日録)	寂照山院代部屋記→	冊 1
278	文政13・6・	御客殿再建末檀儀定録(御普請元ノ勸 善院他7ヶ寺世話方松尾寺他9ヶ寺)	柏原村吉村佐八郎他11ヶ村24名, 寂 照山役人新井主税→	冊 1
279	文政13・6・	本堂普請諸入用立会控	御普請方元ノ詮寿院・三光院他4ヶ 村→	横 1
280	文政13・7・朔	期限二付被仰出之覚(彦根藩政改革二 付)	京極右近・岡左内・多賀越中・本庄七 郎右衛門→	冊 1
281	文政13・9・	院領検見免引并役用手帳	新井主税→	小横 1
282	文政13・11・	院領并祠堂田畑秋皆済帳	新井主税→	冊 1
283	文政13・12・	御蔵米仲買請印帳	柏原宿嘉蔵他4ヶ村16名→	冊 1
284	文政13・12・	積立講仕方帳	講元円教院引請法類→	冊 1
285	文政13・	取納方小書入	役所新井主税→	一括
286	天保2・正・	末寺年頭暑寒歳末献上	寂照山役所→	冊 1
287	天保2・10・~	末山諸願書并届暑		冊 1
288	天保2・10・~	(院領検見関係, 状共)	新井主税→	横 3
289	天保2・12・	院領祠堂田畑取納勘定帳皆済帳	新井主税→	冊 2
290	天保2・	松尾寺一山田地売払候二付御糺二相成 書上		綴 1
291	天保3・正・	門前掛諸願向記録	役所新井主税→	冊 1
292	天保3・正・	陽波記(日記 後欠)		冊 1
293	天保3・正・ ~慶応4・5・7	松尾寺一山掛諸記録	寂照山役所→	冊 1
294	天保3・3・	御相容殿再建末檀寄進帳		横 1

No.	年月日	資料名(内容)	差出人→請取人	形態・数量
295	天保 3・ 3・	谷汲山地蔵院進退願一件		冊 1
296	天保 3・ 6・10	明星山諸什物改帳	組合惣代石堂寺・日光寺・常福寺→	冊 1
297	天保 3・ 7・27	年賦末檀寄附金上納帳	寂照山役所→	横 1
298	天保 3・ 9・26	院領検見免引下帳		横 1
299	天保 3・10・	門前免割帳	新井主税→	横 1
300	天保 3・閏12・ ~天保 6・	院領祠堂五十取立并銀納皆濟人別庭帳	新井主税→	横 2
301	天保 3・閏11・	近江国坂田郡之内郷村高帳	近江国成菩提院→勘定所	冊 1
302	天保 3・閏11・	近江国坂田郡之内郷村高帳	成菩提院→御勘定所	冊 1
303	天保 4・ 2・ 3 ~天保 5・12・ 8	末担集会評定日録	寂照山御普請方元ノ中→	冊 1
304	天保 4・ 3・ ~天保 5・	(門体法印関係書, 円体法印病記, 木葬入用)		冊・横 5
305	天保 4・	谷汲山諸用記	寂照山役所→	冊 1
306	天保 4・	御客殿御普請方記録(書院普請入用帳)		冊 2
307	天保 4・	成菩提院末寺継目并加行得度礼記録(安政3年まで)	三十九世円体代→	冊 1
308	天保 5・ 7・~	末山諸願書類		冊 1
309	天保 5・	門前江御払米勘定帳		横 1
310	天保 6・ 5・ 1	銀納方取調勘定帳	新井主税→	横 1
311	天保 6・ 9・	門前当免引割書渡帳	新井主税→	冊 1
312	天保 6・11・	院領祠堂田畑皆濟帳	寂照山役所新井主税→	横 1
313	天保 6・12・	院領并祠堂田畑収納勘定帳	新井主税→	冊 1
314	天保 6・	御院領田畑掟帳	代官新井主税・門前八郎右衛門→	冊 1
315	天保 6・	天保六乙未年新石出方帳	新井主税→	横 1
316	天保 6・	本寺証文下案(宗門手形・本寺証文外)	成菩提院→	冊 1
317	天保10・ 6・	院領大谷口田畑取調手扣	新井主税→	小横 1
318	天保 8・ 2・	天保七年凶作二付諸雜記(現物なし)	寂照山→	—
319	天保 8・ 9・	院領祠堂田畑検見手帳	新井主税→	小横 1
320	天保 8・ 9・	院領秋納五十取立帳	寂照山役所→	横 3
321	天保 8・12・	酉勘定日録	末寺惣代→	冊 1
322	天保 8・	天保八酉年新米出方寛帳	新井主税→	横 1
323	天保 8・	御年貢不納方取調		横 1
324	天保 9・ 8・	成菩提院借財引請中相統方諸向惣勘定仕法帳(現物なし)	末寺惣代浄光院且方惣代吉村佐八郎→	横 1
325	天保 9・ 9・	成菩提院末寺ノ差出願書写		冊 1
326	天保10・ 8・	寺録分限御改帳	松尾寺→寂照山役人	冊 1
327	天保10・ 9・	院領并祠堂田畑検見手帳	役所新井主税→	小横 1
328	天保10・10・	御寺当座借財方取調帳(現物なし)	新井主税→	横 1
329	天保10・11・	院領并祠堂田畑収納皆濟帳	役所新井主税→	冊 1
330	天保10・	亥年御払代金出入帳	新井主税→	横 1
331	天保11・ 6・14~	御朱印御改 京東御役所ヨリ御尋二付上京日記	成菩提院現住周円宝聚院控→	冊 1
332	天保11・11・	院領并祠堂田畑収納皆濟帳	代官新井主税→	冊 2
333	天保11・	山門大会執行記	成菩提院知事→	一 括
334	天保12・ 6・	寺録分限縁山書上帳(雛形)		冊 1
335	天保12・ 6・	妙楽院分限帳	大野木村六郎左衛門→成菩提院役僧中	冊 1
336	天保12・ 6・	寺録分限其外縁由什宝等書上帳	成菩提院→龍王院法印・功德院法印	冊 1

『成菩提院文書』の総合的研究

No.	年月日	資料名(内容)	差出人→請取人	形態・数量
337	天保12・6・	松尾寺末寺明細帳	松尾寺一山中→龍王院法印・功德院法印	冊 1
338	天保12・7・	周円代伝法灌頂執行二付借物万端記	寂照山役者→	横 1
339	天保12・8・	末山住侶三緒許状改帳	寂照山知事→	冊 1
340	天保12・8・25	野菜至来日並記		横 1
341	天保12・8・	当山四十世周円法印伝法灌頂献立		冊 1
342	天保12・8・	阿闍梨受者奉納扣	寂照山役所伝法灌頂執行当山四拾世法印周円代新井主税扣→	横 1
343	天保12・8・	灌頂中末山出勤日並記	寂照山鑑院→	横 1
344	天保12・8・20 ～9・25	西国讚衆施物記		横 1
345	天保12・9・11	院領検見免引下帳	新井主税→	横 1
346	天保12・9・23	凶歳死亡霊為菩提大施餓鬼執行(奥に「野菜至来」あり)	寂照山知事→	横 1
347	天保12・8・ ～弘化4・2・	(四十四世周円灌頂執行一件関係一括)		冊 2 状 6
348	天保13・4・13	濃州谷汲江末寺御巡見并本尊開帳御来福之留	寂照山現住周円→	冊 1
349	天保13・10・	当院寺格心得二相成候儀書記(「於役所二記之」と表紙にあり)	寂照山役所新井主税→	冊 1
350	天保13・12・	金比羅大権現歳々出入勘定控	別当所十妙坊→	横 1
351	天保14・8・	議定書覚写	覚常院・鶏足院→成菩提院末担世話方中	冊 1
352	天保14・9・	寂照山輪番日記		冊 1
353	天保14・9・	御致無住書上帳	大野木村榮昌山神宮寺→龍王院法印・功德院法印	冊 1
354	天保14・9・	(松尾寺末寺明細書上)	松尾寺一山中→鑑院法印・新井主税	冊 1
355	天保14・	天保十四卯年新米出方覚	新井主税→	横 1
356	天保15・正・	諸記録(天保14年～嘉永元年12月の達書等写)	寂照山役所→	冊 1
357	天保15・正・ ～嘉永5・3・7	周円法印御代開帳礼録一卷委書記	寂照山役所→	冊 1
358	天保15・2・	志賀谷借用金義二付口書并借用方利納等覚書	成菩提院担方世話方惣代杉沢村樋口三郎兵衛・大沢善蔵・同末寺方世話方惣代観音寺修善院→柏原宿堤助次郎・西川瀬右衛門・吉村佐八郎・杉野市大夫・梶新之助	綴 1
359	弘化2・	新穀出方控帳	寂照山役所→	横 1
360	弘化3・12・29	申渡請印帳(成菩提院門前へ17名現物なし)	役所→	冊 1
361	弘化3・12・	午年御払米代金差引書		冊 1
362	弘化3・	午年米捌方覚書		冊 1
363	弘化4・5・23	当山四十三世本誓院周円法印本葬之記	寂照山記録方→	横 1
364	弘化4・5・26 ～嘉永2・	成菩提院要用記		冊 1
365	弘化4・6・29	成菩提院仕法二付議定連印帳(現物なし)	末寺惣代石堂寺代官新井主税→	冊 1
366	弘化4・6・	成菩提院借財方仕法帳(現物なし)	末寺惣代正寿院代官新井主税→	冊 1
367	弘化4・7・	弘化四未ノ七月惣通付取調手帳(金銭出入)	寂照山→	横 1
368	弘化4・7・	当山三十九世円休法印四十世周円法印兩代新寄附帳		冊 1

No.	年月日	資料名(内容)	差出人→請取人	形態・数量
369	弘化 4・9・14~	院領立会検見免引帳	寺領代官新井主税→	横 5
370	弘化 4・10・	院領祠堂田畑屋敷秋納皆済帳(後欠)		冊 1
371	弘化 4・	末山色衣願書并御請一卷留記	寂照山役所→	冊 1
372	弘化 5・正・	伊吹山観音寺順老福寿院色衣願書并添簡願書之扣		冊 1
373	弘化 5・3・	本堂再建勸進万人連社施餓鬼化縁	発起主深達院外7ヶ寺→	冊 1
374	弘化 5・3・	本堂再建勸進万人講施餓鬼化縁之状	江州坂田郡柏原寂照山円成寺菩提院知事→	冊 1
375	嘉永元・正・ ~明治 3・	普請組覚帳		冊 1
376	嘉永元・7・10 ~嘉永 3・8・	嘉永元申年ぶ歳記 番付帳外飛々施入法名入名記	成菩提院知事→	冊 1
377	嘉永元・7・	惣施入料物預り取調帳	寂照山知事→	横 1
378	嘉永元・8・12	大洪水院領損所普請諸記録	新井主税→	冊 1
379	嘉永元・10・ ~慶応 4・8・	当室事務山門御両院宮川三左衛門役中調之末寺諸願書類	寂照山役所→	綴 1
380	嘉永元・	院領収納勘定目録	新井主税→	冊 1
381	嘉永 2・3・	成菩提院収納米高并代金遺払勘定帳	鑑院深達院外10→	冊 1
382	嘉永 2・9・~	諸事願書并取引書類留記	石堂寺代勤中→	冊 1
383	嘉永 2・9・	院領并祠堂田畑検見手帳	検見立会中→	小横 1
384	嘉永 2・10・	山門御伺草案	寂照山世話方→	冊 1
385	嘉永 2・12・	要答達書	鶏足院権僧正覚常院→	冊 1
386	嘉永 2・12・	新井氏諸書類請取目録	寂照院末檀世話方→	横 1
387	嘉永 3・6・	諸記録	寂照山→	冊 1
388	嘉永 3・7・	山門書状扣	福寿院宮川三左衛門→	横 1
389	嘉永 3・7・~	諸用留	寂照山→	冊 1
390	嘉永 3・10・ ~嘉永 7・	五十年貢取立帳		横 3
391	嘉永 3・12・	止メニ相成候当院御預り 鶏足院覚道院様從正覚院様江今般御譲り(御趣意一件入用書類之写)	寂照山世話方講中→	冊 1
392	嘉永 3・	立糶二十一日夜大風雨院領境内荒所書物入	寂照山役人→	袋冊 1
393	嘉永 3・秋・~	東叡山二条御触書	寂照山知事→	
394	嘉永 3・~	四十二世義孝法印代ニ至ル 從嘉永三戊冬 観音寺一山諸願書類	当院事務鶏足院・覚常院→	冊 1
395	嘉永 3・	大風雨院領大破手控(万延元年洪水川除普請目論見書共)		冊 1
396	嘉永 4・1・1 ~12・29	諸用留(嘉永4年成菩提院諸事日誌)	寂照山政所福寿院宮川三左衛門→	冊 1
397	嘉永 4・8・	寺領高調帳(末寺有)	成菩提院→	冊 1
398	嘉永 4・12・	院領祠堂田畑屋敷収納皆済帳	仮代官宮川三左衛門他→	冊 1
399	嘉永 4・12・	成菩提院収納米高并代金請払勘定帳(現物なし)	成菩提院鑑院深達院他8→	冊 1
400	嘉永 5・1・	諸用留	寂照山役所→	冊 1
401	嘉永 5・5・25	御入院之節前御預りヨリ御貲勘定帳		横 6
402	嘉永 5・5・	靈宝帳	仮代官宮川三左衛門→	冊 1
403	嘉永 5・5・	仏前道具引渡帳(三冊之内, 第四十一世亮秀代)	覚常院法印 惠雲院他2→	冊 1
404	嘉永 5・5・	山門從大慈院転住入院諸記録	四十一世亮秀法印代→	冊 1
405	嘉永 5・11・	御相殿御再建記録	成菩提院→	冊 1

『成菩提院文書』の総合的研究

No.	年 月 日	資料名(内容)	差出人→請取人	形態・数量
406	嘉永 5・12・29	申渡印帳(諸事取締・野業出精・親孝行等17名連印)	寂照山役所→	冊 1
407	嘉永 5・12・	収納米高并代金受払勘定帳	深達院・宮川三左衛門・吉村逸平→	冊 1
408	嘉永 5・10・ ~嘉永 7・	年貢代銀請払帳	寂照山収納方→	横 3
409	嘉永 5~7・	年貢収納帳	寂照山年貢方→	横 3
410	嘉永 6・ 1・	年中行事控	寂照山別当所→	冊 1
411	嘉永 6・ 3・22	御相殿御再建顔附扣	寂照山普請方→	横 1
412	嘉永 6・12・	収納米高并代金請払勘定帳	深達院・宮川三左衛門・吉村逸平→	冊 1
413	嘉永 6・12・	院領私領田畑屋敷収納皆済帳	深達院・宮川三左衛門・吉村逸平→	冊 1
414	嘉永 7・ 1・	松尾寺正寿院幸輪の清瀧徳源院入組金子静論一件書附留	寂照山役人→	冊 1
415	嘉永 7・ 1・	諸日記		冊 1
416	安政元・12・	収納米代并借入金請払勘定帳	深達院・宮川三左衛門・吉村逸平→	冊 1
417	安政 2・正・	日耕記	当山御預り山門恵心院僧正代→	冊 1
418	安政 2・12・29	申渡請印帳	寂照山役所→	冊 1
419	安政 2・12・	収納米代并借入金請払勘定帳	深達院・宮川三左衛門・吉村逸平→	冊 1
420	安政 2・	当山蔵米払分帳	寂照山収納方中→	横 1
421	安政 2・ 3・	山門恵心院僧正様御預り中御談事掛合留	成菩提院役人世話方中→	横 1
422	安政 2~4・	年貢収納帳	寂照山収納方→	横 3
423	安政 2~5・	年貢代金請払帳	寂照山収納方→	横 4
424	安政 2~6・	五十年貢取立帳	寂照山収納方→	横 5
425	安政 3・ 9・	院領并祠堂田畑検見手扣	寂照山宮川三左衛門扣→	小横 1
426	安政 3・ 2・18	葬式買物覚(秋光院病死二付)	門前組頭中→	横 1
427	安政 3・12・29	申渡請印帳(寺中取締等)	寂照山役所→	冊 1
428	安政 3・12・	院領祠堂田畑屋敷収納皆済帳	成菩提院鑑院・鑑院深達院外 2→	冊 1
429	安政 3・12・	収納米代并借入金請払勘定帳	鑑院深達院外 2→	冊 1
430	安政 3・	梵鐘之儀二付書付	成菩提院末濃州山県郡大森村三光院→奉行所	冊 2
431	安政 3・	梵鐘之儀二付書付(成菩提院・安能寺・光明院・小倉寺・市場寺・日光寺・名超寺・常福寺・菅生寺・宝谷寺・三光院・華嚴寺)		冊 53
432	安政 4・正・	日耕記	寂照山役所→	冊 1
433	安政 4・正・	御相殿御普請方請払帳并材木寄進名前留	寂照山→	横 1
434	安政 4・正・13 ~元治元・ 9・	成菩提院末寺継日并加行得度礼録記 当山預り山門恵心院大僧正至義孝法印代(「元治元甲子年七月近末并美濃末諸掛記録 四十三世義孝法印代 鳳亮法印代・寂照山役所」(元治元~明治2年)をあわせて綴)	院代福寿院→	綴 1
435	安政 4・ 2・30	申渡請印帳(火の用心・儉約・親孝行等諸事取締)	権右衛門外16名連印→寂照山役所	冊 1
436	安政 4・ 3・10	御相殿御再建顔附扣	寂照山普請方→	横 1
437	安政 4・12・	収納米代并借入金請払勘定帳(御相殿御普請入用請払勘定帳合綴)	鑑院深達院→	冊 1
438	安政 4・12・	院領祠堂田畑屋敷収納皆済帳		冊 1
439	(安政 4)・	従慶長十三年 公儀御代々御朱印頂戴記	寂照山成菩提院→	冊 1
440	安政 5・正・	山門書状扣		横 1

No.	年月日	資料名(内容)	差出人→請取人	形態・数量
441	安政 5・10・26	壳渡米切手押切勘定帳	寂照山収納所→	横 1
442	安政 5・10・	年貢勘定帳	寂照山収納方→	横 1
443	安政 5・12・	成菩提院 収納米代并借入金請払勘定帳	鑑院深達院→	冊 2
444	安政 5・	安政五午歳諸払附込帳	寂照山用部屋→	冊 1
445	安政 5・	御相殿再建新寄附色々名簿帳	成菩提院役人→	冊 1
446	安政 6・10・17	御朱印御改二付参府 於京都御届向頂戴 諸記録	成菩提院→	冊 1
447	安政 6・12・	成菩提院収納米代并借入金請払勘定帳	鑑院深達院外 2→	冊 1
448	安政 6・12・	成菩提院収納米代并借入金請払勘定帳	鑑院深達院外 2→	冊 1
449	万延元 7・ 17	大風雨二付院領荒所手扣	宮川三左衛門・吉村逸平→	小横 1
450	万延元 8・ 12	裏山下刈柴入札帳	寂照山役人→	横 1
451	万延元・12・	成菩提院収納米代并借入金請払勘定帳	深達院・宮川三左衛門・吉村逸平→	冊 1
452	万延元・12・	成菩提院収納米代并借入金請払勘定帳	深達院・宮川三左衛門・吉村逸平→	冊 1
453	万延元・12・	成菩提院院領田畑屋敷収納勘定帳	深達院・宮川三左衛門・吉村逸平→	冊 1
454	万延元・12・	成菩提院院領田畑屋敷収納勘定帳	深達院・宮川三左衛門・吉村逸平→	冊 1
455	万延元・	東台来状綴込帳	四十三世義孝法印代成菩提院→	冊 1
456	万延元・12・ ~文久 3・正・	二条東叡山御触書留書	当山四十三世義孝法印代成菩提院→	冊 1
457	万延 2・正・	日耕記		冊 1
458	文久元・12・	成菩提院収納米代并借入金請払勘定帳	鑑院深達院外→	冊 1
459	文久元・12・	成菩提院収納米代并借入金請払勘定帳	深達院・宮川三左衛門・吉村逸平→	冊 1
460	文久元・ 2・	年貢収納帳	寂照山代官方→	横 2
461	文久 2・ 3・	慈覚大師十年御忌記録	深達院・宮川三左衛門・吉村逸平→	冊 1
462	文久 2・ 3・	五十年貢収納帳	寂照山代官→	横 2
463	文久 2・ 5・15	輪門様御上洛二付出京留書	成菩提院代官方→円覚院	冊 1
464	文久 2・ 7・	廻状(公儀木丸火災二付御献金一件)	四十三世義孝法印代→松尾寺他19ヶ寺	横 1
465	文久 2・11・	院領祠堂田畑屋敷収納皆済帳	深達院・宮川三左衛門・吉村逸平→	冊 1
466	文久 2・11・	玄関末山詰所所化部屋再建寄附帳(図面とも)	寂照山役所→	横冊 1
467	文久 2・11・	蔵米代金取立并手形割印帳	寂照山代官→	横 1
468	文久 2・12・	口上書を以御願申上度候之覚(南宮社家大屋市正相統人の件)	三輪善四郎→吉村逸平・宮川三左衛門	冊 1
469	文久 2・	文久二年戌年収納仮勘定日録	寂照山代官方→	横 1
470	文久 3・ 2・	玄関木材并建具類控帳		横 1
471	文久 3・ 8・	灌頂関係(奉納拍・膳部献立・諸入用)	寂照山用部屋・役所→	横 1
472	文久 3・ 9・	天の川筋通船開拓之儀二付用留	成菩提院役所→	冊 1
473	文久 4・正・	二条東叡山御触留書(内容文久3~文久5年)	寂照用部屋→	冊 1
474	元治元・ 7・	末山色衣願書并御請一条留書	寂照用役所→	冊 1
475	元治元・12・	成菩提院収納米代并借入金請払勘定帳	深達院・宮川三左衛門・吉村逸平・樋口権左衛門→	冊 1
476	元治元・12・	成菩提院収納米代并借入金請払勘定帳	深達院外 3名→	冊 1
477	慶応元・閏5・14	公法様御進発御旅館御留	成菩提院役人中→	冊 1
478	慶応元・ 7・ ~明治元・ 9・	二条東叡山御書留記	樋口権左衛門→	冊 1
479	慶応元・11・25	御住職御取極御相談返書之下并□年□勘定書下	寂照山→	冊 1
480	慶応元・12・	成菩提院収納米代并借入金請払勘定帳	深達院→	冊 1
481	慶応元・12・	成菩提院収納米代并借入金請払勘定帳	深達院外 3名→	冊 1

『成菩提院文書』の総合的研究

No.	年月日	資料名(内容)	差出人→請取人	形態・数量
482	慶応元・12・	御奉書并御書附写		冊 1
483	慶応 2・ 6・ 7	御入院慶応二年六月七日御行例留		横 1
484	慶応 2・11・	五十日年貢米蔵入帳	寂照山代官方→	横 2
485	慶応 2・12・	成菩提院収納米并借入金勘定帳	深達院外 3→	冊 1
486	慶応 2・	年貢収納帳(慶応3年分共)	寂照山代官方→	横 1
487	慶応 3・ 8・	濃州大墳村妙徳院一件(妙徳院無住のため金屋村玉泉院昭達伝住)		袋 1
488	慶応 3・12・	成菩提院収納米并借入金勘定帳	深達院・宮川三左衛門・吉村逸平・樋口権左衛門→	冊 1
489	慶応 4・ 3・	奉願上口上覚(成菩提院の由緒を書き上げ寺領の安堵願)		冊 1
490	慶応 4・ 2・	奉願上口上覚(美濃国中山南宮社由緒並に御宝祚御祈願所願)	濃州一宮南宮寺社惣代真禪院外→太政官神祇役所	冊 1
491	慶応 4・ 5・	寺領御判物御朱印写	成菩提院→	冊 1
492	慶応 4・ 5・ ～明治 2・ 5・14	以書付御願中上候(観明院住職一件)	観明院→宗門奉行所	綴 1
493	慶応 4・ 9・	松尾寺・末寺塔頭明細帳	松尾寺惣中→寂照山御役人	冊 1
494	慶応 4・ 9・	比叡山回章留記	寂照山書記方→	冊 1

(二) 近代書冊文書

No.	年月日	資料名(内容)	差出人→請取人	形態・数量
1	明治 1・ 8・	明治元年辰八月 市場寺一件書物	成菩提院→	袋 1
2	明治 2・ 4・	成菩提院領租税録	成菩提院役者全性院→	冊 1
3	明治 2・ 4・	明細書上帳扣	成菩提院領坂田郡小野村→	冊 1
4	明治 2・ 5・	松尾寺一山掛諸記録	寂照山知事→	冊 1
5	明治 2・ 8・	大会御回章控(堅者年戒臆提出・白帽子着用禁止)	成菩提院知事→	冊 1
6	明治 2・ 9・23 ～明治 5・ 3・25	明治二巳年ヨリ成菩提院末・経日并加行得度慶礼録記	孝健法印代院代 全性院→	冊 1
7	明治 2・11・	分限帳	坂田郡名越寺恵光山名超寺→寂照山役所	冊 1
8	明治 2・12・	分限御改帳	坂田郡長岡郷安能寺→	冊 1
9	明治 2・12・	成菩提院収納米并借入金勘定帳	鑑院全性院外 3→	冊 1
10	明治 2・	布告写	寂照山執事→	冊 1
11	明治 2, 3 年	高反別物成収納辻書上帳(布告書・成菩提院寺号其外明細帳外合綴)	全性院→	綴 1
12	明治 2, 4, 6 年	院領并祠堂田畑毛見控	寂照山吉村逸平・宮川三左衛門→	小横 3
13	明治 3・ 4・	分限御改覚	成菩提院→久遠成院法印外 2	綴 1
14	明治 3・ 3・	人別御改帳	組頭太蔵外 2→宮川三左衛門・吉村逸平	冊 1
15	明治 3・ 3・	近江国坂田郡柏原郷成菩提院 門前人別宗旨御改帳	成菩提院役者・全性院→	冊 1
16	明治 4・ 2・	田畑山林高反別帳	成菩提院→	冊 1
17	明治 4・ 2・	御朱印地并除地上知一件諸留記	成菩提院→	冊 1
18	明治 4・ 3・	境内並田畑山林高町歩書上帳	成菩提院→郡山藩役所	冊 1
19	明治 4・ 3・	当院門前元領分人別書	成菩提院→	横 1
20	明治 4・ 3・	当院門前元領分人別帳	成菩提院→	横 1

No.	年 月 日	資料名 (内容)	差出人→請取人	形態・数量
21	明治 4・ 7・	近江国坂田郡柏原村小野方祭神社取調書	柏原村祠官曾我豊→	冊 1
22	明治 4・ 9・	元朱印地永荒地高反別書上	柏原村成菩提院→	綴 1
23	明治 4・12・	成菩提院取納米并備入金勘定帳		冊 1
24	(明治 4)・～	御布令写	寂照山→	冊 1
25	明治 5・ 2・	奉願上候口上之覚 (泉明院玄瑞進退願外)	泉明院玄瑞外 1→本刹執事中	綴 1
26	明治 5・ 3・	式拾ヶ年取米見込帳下 (嘉永 4 年～明治 3 年年貢書上)		冊 1
27	明治 5・ 9・	什物書上	成菩提院→	綴 1
28	明治 6・ 1・	死者取葬御届書 (明治 5, 6 年死亡届)	坂田郡第一区柏原村成菩提院→滋賀県令松田道之	綴 2
29	明治 6・ 1・	苗字御届書 (住職鍋田孝健)	成菩提院→	冊 1
30	明治 6・ 4・	除地御払下ヶ願書 (成菩提院・妙楽寺境内)	成菩提院住職鍋田孝健→	綴 1
31	明治 6・ 4・	(境内・山林反別・檀家数等書上)	成菩提院住職鍋田孝健→	綴 1
32	明治 6・ 4・	(寺院明細書成菩提院・念仏堂・妙楽寺・神宮寺分)	成菩提院住職兼務鍋田孝健→	綴 1
33	明治 6・ 7・	教部懸布告書		冊 2
34	(明治 6)・	阪田郡山東組諸宗寺院姓名録	会所成菩提院→	冊・綴 2
35	(明治 6)・	当山末寺住職進退諸願雜書		冊 1
36	明治 7・ ～明治 8・ 8・20	境内建物間数取調上書写, 境内建物間数取調上書写并再間数改鎮守墓地所, 粗略図書之及境内外樹木等	寂照山→	綴 1
37	明治 7・12・24 ～明治 8・11・25	明治八亥年 教部懸布告書, 公布中院俱		冊 1
38	明治 7・12・	所有地反別代価旧作人取調書	成菩提院→	冊 1
39	明治 8・ 8・	村高所有地取調書 (※「御歳貢并取納米取調書」あり)	観音寺村→	綴 1
40	明治 8・10・	観音寺一山二付諸願并雜書		綴 1
41	明治 9・ 2・14	阪田郡諸寺院取調	触頭成菩提院控→	冊 1
42	明治 9・ 4・ ～12・20	明治九子年分末寺願書速 (副書等一切之書写記)		冊 1
43	明治 9・ 9・2	阪田浅井両郡 本院基本金篤志標	本宗会計課→成菩提院三浦良灌	冊 2
44	明治 9・11・	所有地反別地価簿	成菩提院→	冊 1
45	明治 9・12・26	千部会篤志金未納人名記	寂照山成菩提院→	横 1
46	(明治 9～11)・	(名超寺・常福寺相統, 観音寺建物取置願外)		冊 1
47	明治10・ 1・19 ～12・26	中大教院概略集括 明治十年布告	触頭寂照山執具→	冊 1
48	明治10・ 1・ ～明治12・	小作証文之写 (小作証文・清書・念仏堂台寺二付跡地御処分御伺書等13点)		綴 1
49	明治10・ 3・	年内祈願録		冊 1
50	明治10・ 8・	梵鐘御取調二付申上書 (梵鐘再铸件返答)	江州犬上郡第四区古沢村仙琳寺→	冊 1
51	明治10・10・ 1	戦死追善篤志簿 小野組	阪田郡天台宗小教院→	冊 1
52	明治10・10・	天台宗仏器什物取調簿	住職三浦良灌→滋賀県権令籠手田安定	冊 1
53	明治10・11・10	(延暦寺・大教院永統維持金規約, 住職選任許可につき)		綴 1
54	明治10・12・20	記 (死亡届書式)	副戸長→	冊 1
55	明治10・	松尾寺住職三家昭海教導職堪任二付故障一件雜書	松尾寺世話当檀家并養運院→	冊 1

『成菩提院文書』の総合的研究

No.	年月日	資料名(内容)	差出人→請取人	形態・数量
56	明治10・	地券更正 明治十年小作米金取立名簿 二冊之下	成菩提院→	冊 1
57	明治10・	松尾寺-山故障二付三家昭海申立并願 書類雜記		冊 1
58	明治11・ 1・	山門及中教院布達其余末山住職進退并 公布等雜書		冊 1
59	明治11・ 5・15	浄土曼荼羅篤志簿	成菩提院→	冊 1
60	明治12・11・	成菩提院所有地小作簿 二冊之内上		横 1
61	明治12・12・	従来取扱書雜綴冊 末寺願書速口副書 等一切之書写記二冊日改		冊 1
62	明治12・	山門及中教院布告其余末門住職進退公 布等雜綴一冊		冊 1
63	明治13・ 3・11	(祈念録 表紙欠)		冊 1
64	明治13・12・	松尾寺事件書類		冊 1
65	明治13・	明治十三年布告雜記(末院住職進退・ 院内内諸記)		冊 1
66	明治14・ 5・	記(山地・樋口村へ出作反別書上外)		綴 4
67	明治14・ 9・ 9	住職進退願(華嚴寺住職後任高木習道 へ)	華嚴寺住職試補加納豪献外10→木寺 成菩提院中	綴 1
68	明治14・ ~明治15・ 1・20	明治十四年兩郡内請費及十五年一月廿 日宗務所會議二付担代出頭ノ諸費		綴 1
69	明治14・ 1・	賦課金	成菩提院末寺日光寺他9ヶ寺→天台 宗務所	綴 1
70	明治15・ 1・ 9	死者取葬御届書	成菩提院住職権中講義三浦良灌→	冊 1
71	明治15・	年内雜書綴明治十五年宗公庶布告雜記		冊 1
72	明治16・	第貳号浄土院施入芳名簿	願主唯我韻舜→	冊 1
73	明治17・ 1・ 3	死者取葬御届書(死者取葬届書2通)	天台宗成菩提院住職少講義鍋田孝健→ 滋賀県令籠手田安定	綴 1
74	明治17・ 1・	委任状(檀家総代選定の委任状)	杉之沢村檀家惣代樋口新四郎他10ヶ 村11名→檀家惣代撰定人宮川権三他 3ヶ村4名	冊 1
75	明治17・12・	妙徳院明細書合併願	玉泉院住職兼務加納完誠→岐阜県令小 崎利準	綴 1
76	(明治17)・	本山江寺用願書(凶作のため賦課金免 除, 寺格等級退願)	成菩提院住職鍋田孝健外8名→管長 大楳寛宝	冊・綴2
77	明治18・ 4・	明細取調帳	三光院→	冊 1
78	明治20・ 3・ 8	祈念録		冊 1
79	明治21・ 7・	年内祈念録(後欠)		冊 1
80	明治22・ 5・	長日祈念人別記	法主龍宝院光賢代→	冊 1
81	明治22・	歎喜尊天堂篤志簿	成菩提院世話方殿村木間太他2→	冊 1
82	明治22, 23年度	庶務會計簿		冊 1
83	明治23・ 8・	真言宗古新在家勤行法則四和讃(岡嶋 写本)		冊 1
84	明治23・12・	本山堂營繕篤志簿	成菩提院→	冊 1
85	明治24・ 8・ 1 ~明治25・ 6・ 4	祈念録	天台寺門平等金剛龍宝院岡嶋光賢代→	冊 1
86	明治24・11・ 9	祈念録		冊 1
87	明治24・12・	什器追加外物品(什器引継届とも)	柏原村成菩提院→	冊 2
88	明治24・	日計簿(日計簿部分精算簿とも合冊)	柏原村字柏原成菩提院→	冊 1
89	明治24・	(布告廻達類綴)		綴 1
90	明治26・ 9・	祈念録		冊 1
91	明治27・	院費出納精算簿		冊 1

No.	年 月 日	資料名 (内容)	差出人→請取人	形態・数量
92	明治28・ 8・	第十一号仏幡寄附連名帳 (清滝・須川・柏原・杉沢・北地・常喜外 ※10冊を合冊)	成菩提院執事→	綴 1
93	明治29・ 4・	千部普照出入清算簿	成菩提院→	冊 1
94	明治30・ 明治45・	祈念人別録 祈念録		冊 2
95	明治33・ 8・	祈念録		冊 1
96	明治38・ 1・ 5～	大般若理趣分 不動慈救咒 寒中行法修行	行者平等金剛全味→	冊 1
97	(明治)	延暦寺里本坊建築篤志表	延暦寺幹寺→	冊 1
98	(明治)	備忘記 (金銭出納雑記・外請取)		横・状 3
99	(明治)	(過去帳より戦国時代分抜書)		横 1
100	(明治)	寺院明細帳	松尾寺寺中養運院・観明院→	冊 1
101	大正 2・ 2・ 3	日生供修行人別記		横 1
102	大正 3・ 4・ 8	祈念録		冊 1
103	昭和17・12・	昭和十七年度小作掟口台帳	柏原村成菩提院総代→	冊 1

(ふくだ・えいじろう 本学名誉教授)